

工事特記仕様書		
. 工事名		
玉城町防災倉庫新築工事		
. 工事概要		
1. 工事場所	三重県度会郡玉城町佐田23番1	
2. 敷地面積	583.40㎡	
3. 工事内容		
棟名称	玉城町防災倉庫	
構造	鉄骨造 平屋建 カウイチ製 HKL-5050型同等品	
建築面積	138.16㎡	
延べ面積	138.16㎡	
工事項目	建築工事・電気設備工事 一式	
. 建築工事仕様		
1. 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」平成28年版）(以下「標準仕様書」という。)による。		
2. 特記仕様 1)項目は、番号に 印の付いたものを適用する。 2)特記事項は、 印の付いたものを適用する。 3)項目に記載の () 内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。		
章	項目	特記事項
① 一般共通事項	① 適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 建築工事標準詳細図 建築鉄骨設計基準及び同解説 敷地調査共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（最新版）
	② 発生材の処理等	・ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
	③ 施工条件	下記で指定するもの以外は監理者・建築主と協議し決定する。 ○ 施工可能日 (・ 指定なし ○ 打合せによる) ○ 施工可能時間帯 (・ 指定なし ○ 打合せによる) ○ 部位別の施工順序 (・ 指定なし ○ 打合せによる) ○ 工事車両の駐車場 (・ 指定なし ○ 打合せによる ・ ()) ○ 資材置場 (・ 指定なし ○ 打合せによる ・ ())
	④ 概成工期	建築物等の使用を想定して総合試運転調整を行ううえで、関連工事を含めた各工事が支障のない状態にまで完了していること。
	5. 部分引渡し部分使用	・ 部分引渡しあり ・ 部分使用あり 指定部分 (・) 時期 (平成 年 月 日 ~)
	6. 埋蔵文化財調査	埋蔵文化財調査が行われる場合は協力すること。 ・ 発見された場合、発掘調査等の実施あり
	⑦ 電気保安技術者	適用する
	⑧ 技能士	職種別に可能なものについては積極的に活用すること

⑨ 建築材料等	1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」(最新版)と同等とする。 5) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F 以上とする。 測定対象化学物質 (示したものとする。) 適用 施設用途 ホルムアルデヒド トルエン キソレン エチルベンゼン スレン パラジクロロベンゼン 取扱 取扱 取扱 取扱 取扱 取扱 取扱 住宅 住宅 住宅 住宅 住宅 住宅 住宅 その他 住宅 住宅 住宅 住宅 住宅 住宅 住宅
10. 化学物質の濃度測定 (1.5.9)	対象箇所 (・) 測定方法 (・ パッシブ法 ・ アクティブ法) 報告書提出部数 2部 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。
⑩ 特別な材料の工法	
⑪ 騒音・振動の防止	
⑫ 工事写真	営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(平成31年版))に従い撮影する。 電子納品とし、次のものを提出する。 CD 部数は「18 電子納品」を参照 全写真のサムネームを印刷したもの (A4版用紙) 1部 代表的写真を提出し、L版相当サイズ (A4版用紙に1ページ当たり3枚) で印刷したもの 1部 ○ 作成する (○ 完成図 ・ 保全に関する資料 ・ ()) ○ 完成図作図範囲 (一式) 完成図はCADにより作成することとし、著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。 ○ CADによる作成 (要) ・ 不要) ただし、作成できない場合は建築主との協議による。 ○ CADによる提出 (要) ・ 不要) ただし、作成できない場合は建築主との協議による。
⑬ 完成図等	○ デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部 ○ アルバム 1部 (大きさ 335mm x 290mm程度) ・ 専門家が撮影し、アルバム編集の上提出 1部 ○ 箇所数は外観4面各室2面程度とする。 規定の箇所数が確保できない場合には、建築主と協議すること。
⑭ 完成写真	
⑮ 設備工事との取合い	施工範囲 ○ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ○ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強 ○ 駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ施工図 ○ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。
⑯ 設計GL	○ 図示のベンチマーク(B.M) mm (現状地盤はB.M mm)
⑰ 養生その他	工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にない補修すること。
⑱ 消防提出書類	1) 消火器の設置届については、電気及び機械設備にて設置届が不要な場合は、建築にて設置届を提出するものとする。 2) 防火対象物使用開始届については書類の作成 (建築図面の用意及び建築に関する部分の記述) を行うこと。
⑳ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重	建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 Vo = 34 m/s 地表面粗度区分 (・ ○) 積雪区分 (30) cm

② 仮設工事	1. 建築主事務所 (2.3.1)	任意 ・ 設置する。 建築主事務所規模 (単位: ㎡) 適用 規模 10程度 20程度 35程度 65程度 100程度	
	2. 建築主事務所 (2.3.1) の備品	種類 机・いす 書棚 黒板・白板 掛時計 温度計 数量 組 台 個 個 個 種類 長靴 雨合羽 保護帽 懐中電灯 衣類ロッカー 数量 足 着 個 個 台 種類 消火器 掃除具 受注者加入電話・FAX インターネット 冷暖房機器 数量 個 個 台 台 台	
	3. 仮設便所	建築主職員事務所の仕上げ 部位等 仕 上 げ 床 合板張り又はビニール床シート張り 内壁・天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り 屋根 溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り	
	4. 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できる ○ 利用できない	
	5. 工事用電力	構内既存の施設 ○ 利用できる (○ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない 構内既存の施設 ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) ○ 利用できない 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。	
	6. 交通誘導員	配置 ・ 工事期間中 ・ 図示 ()	
	③ 土工事	① 埋戻し及び盛土 (3.2.3) (表3.2.1)	種別 ・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種
		② 建設発生土の処理 (3.2.5)	○ 自由処分 ・ 処分地指定 処分地 () ・ 処分地未定につき相互協議する。
		3. 山留めの撤去 (3.3.3)	・ 撤去 ・ 存置
	④ 地業工事	1. 杭の施工管理	杭工事特記仕様書による。
2. 試験杭及び試験掘 (4.2.2)		・ 試験杭 位置、本数及び寸法は図示(図面番号:)による。 ・ 試験掘 位置、本数及び寸法は図示(図面番号:)による。	
3. 杭の支持地盤		支持地盤の位置、種類 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	
4. 水平方向の位置ずれ		() mm以下	
5. 杭の載荷試験 (4.2.3)		試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・ () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 ・ 図示(図面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 ・ 提出部数 2部	
6. 地盤の載荷試験 (4.2.4)		試験方法 ・ 平板載荷 ・ () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 ・ 図示(図面番号:) 載荷荷重 (kN) 報告書 ・ 提出部数 2部	
7. 既製コンクリート杭 (4.3.2) (4.3.3) (4.3.4) (4.3.5) (4.3.7)		・ PHC杭 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ・ SC杭 ・ CPRC杭 ・ 種 ・ 種 ・ 種 ・ 上記以外の建築基準法に基づく杭	

8. 鋼杭地業 (4.4.2) (表4.4.2) (4.4.4) (4.3.3) (4.3.5) (4.3.6)	(参考表)	種別 杭径(mm) 杭長 継手数 セット数 長期設計の支持力(kN/本) 備考
		58 上杭 中、下杭
9. 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.4) (4.5.5) (4.5.3)	先端形状 ・ 開放型 ・ 閉そく型 施工方法 ・ 打込み工法 (設計支持力) (打込み杭の推定支持力の算定方法) ・ 打撃工法 ・ プレボリング打撃併用工法 (掘削深さ 設計GL m 掘削径 mm) ・ セメントミルク工法 ・ オーガーの支持地盤への掘削深さ (・ () m ・ 図示 (図面番号:)) ・ 杭の支持地盤への根入れ深さ (・ () m ・ 図示 (図面番号:)) ・ 特定埋込杭工法 (プレボリング拡大根固め工法とする。) 継手 ・ アーク溶接 ・ 無溶接継手 (工法: 認定工法) 杭頭の処理 ・ 行う ・ 行わない	
10. 地盤改良	・ 鋼管杭 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ STK490 ・ H形鋼杭 ・ SHK400 ・ SHK490M 径 ・ 300 ・ 350 ・ 400 ・ 450 ・ (355.6) 長さ () m 先端形状 ・ 開放形 ・ 羽根付 補強方法 ・ 補強バンド ・ () 継手 ・ JISA5525(鋼管くい) 施工方法 ・ 打込み工法 (設計支持力) (打込み杭の推定支持力の算定方法) ・ 打撃工法 ・ プレボリング打撃併用工法 (掘削深さ 設計GL m 掘削径 mm) ・ 特定埋込杭工法 (建築基準法に基づく埋込杭工法とする。) ・ 杭頭の処理 (・ 行う (・ 図示 (図面番号:))) ・ 行わない)	
① 砂及び砂利地業 (4.6.3)	拡底 ・ 行わない ・ 行う () 鉄筋 ・ 鉄筋の種類は標仕[5章2節]による 帯筋 ・ 図示 (図面番号:) 鉄筋ごこの補強 ・ 標仕[4.5.3](a)()による ・ 図示 (図面番号:) 孔壁の超音波測定 ・ 行う ・ 行わない コンクリートの種別 ・ A種 ・ B種 設計基準強度 () N/mm セメントの種類 ・ 高炉セメントB種 ・ () 最小かぶり厚さ () mm 構造体強度補正値 (S) ・ 3 N/mm ・ ()	
② 漆コンクリート地業 (4.6.4)	・ (柱状改良、表層改良)工法 ・ 六価クロム溶出試験 ・ 室内配合試験 ・ 一軸圧縮試験	
③ 床下防湿層 (4.6.5)	厚さ(mm) ・ 60 ○ 100 リサイクル砕石 可 ○ 仕上がりレベルを計測し、記録すること。 厚さ(mm) ○ 50 ・ () ○ 仕上がりレベルを計測し、記録すること。 施工範囲 ・ 図示 () ○ ポリエチレンフィルム(厚さ ○ 0.15mm以上 ・ ()) ○ 防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。	

備考			名称	玉城町防災倉庫新築工事設計図			図面番号
			図名	特記仕様書-1			No. A-01
			DATE	DRAW	CHECK	A3	N.S
			2023.03.31			A2	N.S

5	鉄筋工事	1.鉄筋の種類 (5.2.1)	<table border="1"> <tr><th>種類の記号</th><th>径</th><th>備考</th></tr> <tr><td>○SD295A</td><td>○D16以下</td><td></td></tr> <tr><td>・SD295B</td><td>・()</td><td></td></tr> <tr><td>○SD345</td><td>○D19以上</td><td>○梁主筋</td></tr> </table> <p>・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの</p>	種類の記号	径	備考	○SD295A	○D16以下		・SD295B	・()		○SD345	○D19以上	○梁主筋	4.セメント (6.3.1) (表6.3.1)	種類 ○ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種	7	鉄骨工事	1.施工管理技術者 (7.1.4)	○ 適用する	4.溶接作業における技能資格者 (7.6.3)	溶接作業の技量付加試験 ○ 行わない ・ 行う																							
		種類の記号	径	備考																																										
○SD295A	○D16以下																																													
・SD295B	・()																																													
○SD345	○D19以上	○梁主筋																																												
2.溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 鉄線の径 (mm) ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ () 寸法 (mm) ・ 100×100 ・ 150×150 ・ ()	2.製作工場 (7.1.3)	(株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ○J ・R ・M ・H ・S	5.溶接部の開先 (7.6.4)	開先の形状 ○ 図示(図面番号:)																																									
6	コンクリート工事	3.内法直径 (5.3.2)	90°未満の折曲げの内法直径 ・ 図示(図面番号:)	6.暑中コンクリート (6.12.2)	7.型枠 (6.8.2)(6.8.3)	5.普通ボルト (7.2.3)(7.4.2)	6.溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.12.4)(7.4.2)	8.溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.12.4)(7.4.2)	17.溶接部の試験 (7.6.11)	試験の種類 ・ 超音波探傷試験 ・ ()																																				
		4.継手 (5.3.4)	<table border="1"> <tr><th></th><th>径</th><th>部位</th></tr> <tr><td>○ 重ね継手</td><td>○ 全て</td><td></td></tr> <tr><td>・ ガス圧接</td><td>・ D19以上</td><td>・ 梁主筋</td></tr> </table> <p>主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ ○ 標仕[5.3.4](c)(1)による ・ 図示(図面番号:)</p> <p>継手位置 ○ 各部配筋参考図による ・ 図示(図面番号:)</p> <p>鉄筋定着 ○ 標仕 表5.3.4 ・ 図示(図面番号:)</p>									径	部位	○ 重ね継手	○ 全て		・ ガス圧接	・ D19以上	・ 梁主筋	4.高力ボルト (7.2.2)(7.3.2)(7.4.2)(7.4.7)	種類 ○ トルシア形高力ボルト2種(S10T) ・ JIS形高力ボルト2種(F10T) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当)	18.錆止め塗装 (7.8.3)	鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ・ 標仕[18.3.2]、[表18.3.1] ()種 耐火被覆材の接着する面への塗装 ・ 行わない ・ 行う 適用箇所 図示(図面番号:) 種類 ・ 標仕[18.3.2]、[表18.3.1] ()種 ・ 標仕[18.3.2]、[表18.3.2] ()種																							
	径	部位																																												
○ 重ね継手	○ 全て																																													
・ ガス圧接	・ D19以上	・ 梁主筋																																												
8	ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板	5.鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)	軽量コンクリートで土に接する部分 ○ 無し ・ 有り(適用箇所:) 最小かぶり厚さ ()mm 耐久性上不利な部分(塩害を受けるおそれのある部分等) ○ 無し ・ 有り(適用箇所: 基礎、地中梁等) 最小かぶり厚さ (打合せによる)mm	8.コンクリート強度試験 (6.9.3)	9.軽量コンクリート (6.10.1)(表6.10.1)	7.アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)(7.4.2)	9.タンパックル (7.2.6)	10.デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	19.耐火被覆 (7.9.2)	接合部(ボルト接合の場合) ・ 普通ボルト接合 ・ ()																																				
		6.各部配筋 (5.3.7)	○ 図示(図面番号:)								10.寒中コンクリート (6.11.2)	適用期間() ・ 調合管理強度、調合強度を積算温度を基に定める	1.補強コンクリートブロック造 (8.2.2)(8.2.3)(8.2.4)	種類 ・ 空洞ブロック16 圧縮厚さ ・ 図示(図面番号:) 正味厚さ ・ 図示(図面番号:) モデュール呼び寸法 ・ 図示(図面番号:) 各部の配筋 ・ 図示(図面番号:) コンクリートの調合 ・ 標仕[表8.2.2]以外のとき ・ 21N/mm ・ ()																																
9	コンクリート工事	7.圧接完了後の試験(5.4.9)	抜取試験方法 ・ 超音波探傷試験 ・ 引張試験	12.マスコンクリート (6.13.1)(6.13.2)	11.無筋コンクリート (6.14.1)	8.アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)(7.4.2)	10.タンパックル (7.2.6)	11.デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	20.軽量形鋼構造 (7.11.2)	8.ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板																																				
		8.機械式継ぎ手及び溶接継手 (5.5.2)	<ul style="list-style-type: none"> 機械式継手 種類() 工法() 品質の確認方法() 修正方法() 溶接継手 工法() 品質の確認方法() 修正方法() 								2.コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2)(8.3.3)	ブロックの種類 ・ 標仕[表8.3.1] ・ () ブロックの厚さ ・ 図示(図面番号:) 各部の配筋 ・ 図示(図面番号:) 化粧 ・ 有り ・ 無し																																		
10	コンクリート工事	1.コンクリートの使用骨材による種類及び強度 (6.2.1)(6.2.2)(6.2.4)(6.11.1)(6.11.3)(6.10.1)	普通コンクリートの設計基準強度	13.流動化コンクリート (6.15.1)	12.無筋コンクリート (6.14.1)	9.アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)(7.4.2)	10.タンパックル (7.2.6)	11.デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	21.軽量形鋼構造 (7.11.2)	9.ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板																																				
		2.コンクリートの種類 (6.11.1)(6.11.3)(6.10.1)	<table border="1"> <tr><th>設計基準強度 Fc</th><th>適用箇所</th><th>スランブ</th></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>基礎</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>土間コンクリート</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 18(N/mm)</td><td>捨コン</td><td>○ 15(cm)</td></tr> </table>								設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ	○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)	○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)	○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)	3.コンクリートの種類 (6.11.1)(6.11.3)(6.10.1)	<ul style="list-style-type: none"> 1類 2類 	3.ALCパネル (8.4.2)(8.4.3)(8.4.4)(表8.4.2)(8.4.5)(表8.4.3)	<table border="1"> <tr><th rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">単位荷重(N/mm)</th><th colspan="2">呼び寸法</th><th rowspan="2">構法</th><th rowspan="2">耐火性能</th></tr> <tr><th>厚さ(mm)</th><th>幅(mm)</th></tr> <tr><td>・ 外壁パネル</td><td>・ ()</td><td>・ 100</td><td rowspan="2">600</td><td>・ A種 ・ B種</td><td>・ ()時間 ・ 無し</td></tr> <tr><td>・ 間仕切壁パネル</td><td>・ ()</td><td>・ 100</td><td>・ C種 ・ D種</td><td>・ ()時間 ・ 無し</td></tr> <tr><td>・ 屋根パネル</td><td>・ ()</td><td>・ 100</td><td>・ F種</td><td>・ ()時間 ・ 無し</td></tr> <tr><td>・ 床パネル</td><td>・ ()</td><td>・ 100 ・ 120 ・ 150</td><td>・ F種</td><td>・ ()時間 ・ 無し</td></tr> </table>	種類	単位荷重(N/mm)	呼び寸法		構法	耐火性能	厚さ(mm)	幅(mm)	・ 外壁パネル	・ ()	・ 100	600	・ A種 ・ B種	・ ()時間 ・ 無し	・ 間仕切壁パネル	・ ()	・ 100	・ C種 ・ D種	・ ()時間 ・ 無し	・ 屋根パネル
設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ																																												
○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)																																												
○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)																																												
○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)																																												
種類	単位荷重(N/mm)	呼び寸法		構法	耐火性能																																									
		厚さ(mm)	幅(mm)																																											
・ 外壁パネル	・ ()	・ 100	600	・ A種 ・ B種	・ ()時間 ・ 無し																																									
・ 間仕切壁パネル	・ ()	・ 100		・ C種 ・ D種	・ ()時間 ・ 無し																																									
・ 屋根パネル	・ ()	・ 100	・ F種	・ ()時間 ・ 無し																																										
・ 床パネル	・ ()	・ 100 ・ 120 ・ 150	・ F種	・ ()時間 ・ 無し																																										
11	コンクリート工事	2.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	軽量コンクリートの種類 ・ 1類 ・ 2類	14.混和材料 (6.3.1)(6.3.2)	13.無筋コンクリート (6.14.1)	10.アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)(7.4.2)	10.タンパックル (7.2.6)	11.デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	22.軽量形鋼構造 (7.11.2)	10.ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板																																				
		3.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	軽量コンクリートの設計基準強度								<table border="1"> <tr><th>設計基準強度 Fc</th><th>適用箇所</th><th>気乾単位容積質量</th><th>所要気乾単位容積質量</th><th>スランブ</th></tr> <tr><td>・ (N/mm)</td><td>・ t/m程度</td><td></td><td></td><td>・ (cm)</td></tr> </table>	設計基準強度 Fc	適用箇所	気乾単位容積質量	所要気乾単位容積質量	スランブ	・ (N/mm)	・ t/m程度			・ (cm)	4.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 類 類 	4.押出成形セメント板 (8.5.2)(8.5.3)(8.5.4)(表8.5.1)(8.5.5)(表8.5.2)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>表面形状及び原料区分</th><th>板厚(mm)</th><th>働き幅(mm)</th><th>工法</th></tr> <tr><td>・ 外壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr> <tr><td>・ 間仕切壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ (60)</td><td>・ (600)</td><td>・ B種 ・ C種</td></tr> </table>	種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法	・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種						
設計基準強度 Fc	適用箇所	気乾単位容積質量	所要気乾単位容積質量	スランブ																																										
・ (N/mm)	・ t/m程度			・ (cm)																																										
種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法																																										
・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種																																										
・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種																																										
12	コンクリート工事	3.コンクリートの仕上り (6.2.5)	合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種類 ・ A種 ○ B種 ・ C種	15.流動化コンクリート (6.15.1)	14.無筋コンクリート (6.14.1)	11.アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)(7.4.2)	10.タンパックル (7.2.6)	11.デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	23.軽量形鋼構造 (7.11.2)	11.ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板																																				
		4.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	普通コンクリートの設計基準強度								<table border="1"> <tr><th>設計基準強度 Fc</th><th>適用箇所</th><th>スランブ</th></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>基礎</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>土間コンクリート</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 18(N/mm)</td><td>捨コン</td><td>○ 15(cm)</td></tr> </table>	設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ	○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)	○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)	○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)	5.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 類 類 	5.押出成形セメント板 (8.5.2)(8.5.3)(8.5.4)(表8.5.1)(8.5.5)(表8.5.2)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>表面形状及び原料区分</th><th>板厚(mm)</th><th>働き幅(mm)</th><th>工法</th></tr> <tr><td>・ 外壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr> <tr><td>・ 間仕切壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ (60)</td><td>・ (600)</td><td>・ B種 ・ C種</td></tr> </table>	種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法	・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種				
設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ																																												
○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)																																												
○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)																																												
○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)																																												
種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法																																										
・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種																																										
・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種																																										
13	コンクリート工事	4.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	軽量コンクリートの種類 ・ 1類 ・ 2類	16.流動化コンクリート (6.15.1)	15.無筋コンクリート (6.14.1)	12.アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)(7.4.2)	10.タンパックル (7.2.6)	11.デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	24.軽量形鋼構造 (7.11.2)	12.ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板																																				
		5.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	軽量コンクリートの設計基準強度								<table border="1"> <tr><th>設計基準強度 Fc</th><th>適用箇所</th><th>スランブ</th></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>基礎</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>土間コンクリート</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 18(N/mm)</td><td>捨コン</td><td>○ 15(cm)</td></tr> </table>	設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ	○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)	○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)	○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)	6.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 類 類 	6.押出成形セメント板 (8.5.2)(8.5.3)(8.5.4)(表8.5.1)(8.5.5)(表8.5.2)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>表面形状及び原料区分</th><th>板厚(mm)</th><th>働き幅(mm)</th><th>工法</th></tr> <tr><td>・ 外壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr> <tr><td>・ 間仕切壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ (60)</td><td>・ (600)</td><td>・ B種 ・ C種</td></tr> </table>	種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法	・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種				
設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ																																												
○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)																																												
○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)																																												
○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)																																												
種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法																																										
・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種																																										
・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種																																										
14	コンクリート工事	5.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	普通コンクリートの設計基準強度	17.流動化コンクリート (6.15.1)	16.無筋コンクリート (6.14.1)	13.アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)(7.4.2)	10.タンパックル (7.2.6)	11.デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	25.軽量形鋼構造 (7.11.2)	13.ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板																																				
		6.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	軽量コンクリートの種類 ・ 1類 ・ 2類								<table border="1"> <tr><th>設計基準強度 Fc</th><th>適用箇所</th><th>スランブ</th></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>基礎</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>土間コンクリート</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 18(N/mm)</td><td>捨コン</td><td>○ 15(cm)</td></tr> </table>	設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ	○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)	○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)	○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)	7.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 類 類 	7.押出成形セメント板 (8.5.2)(8.5.3)(8.5.4)(表8.5.1)(8.5.5)(表8.5.2)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>表面形状及び原料区分</th><th>板厚(mm)</th><th>働き幅(mm)</th><th>工法</th></tr> <tr><td>・ 外壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr> <tr><td>・ 間仕切壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ (60)</td><td>・ (600)</td><td>・ B種 ・ C種</td></tr> </table>	種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法	・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種				
設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ																																												
○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)																																												
○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)																																												
○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)																																												
種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法																																										
・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種																																										
・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種																																										
15	コンクリート工事	6.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	軽量コンクリートの種類 ・ 1類 ・ 2類	18.流動化コンクリート (6.15.1)	17.無筋コンクリート (6.14.1)	14.アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)(7.4.2)	10.タンパックル (7.2.6)	11.デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	26.軽量形鋼構造 (7.11.2)	14.ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板																																				
		7.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	普通コンクリートの設計基準強度								<table border="1"> <tr><th>設計基準強度 Fc</th><th>適用箇所</th><th>スランブ</th></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>基礎</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>土間コンクリート</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 18(N/mm)</td><td>捨コン</td><td>○ 15(cm)</td></tr> </table>	設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ	○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)	○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)	○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)	8.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 類 類 	8.押出成形セメント板 (8.5.2)(8.5.3)(8.5.4)(表8.5.1)(8.5.5)(表8.5.2)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>表面形状及び原料区分</th><th>板厚(mm)</th><th>働き幅(mm)</th><th>工法</th></tr> <tr><td>・ 外壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr> <tr><td>・ 間仕切壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ (60)</td><td>・ (600)</td><td>・ B種 ・ C種</td></tr> </table>	種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法	・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種				
設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ																																												
○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)																																												
○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)																																												
○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)																																												
種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法																																										
・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種																																										
・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種																																										
16	コンクリート工事	7.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	普通コンクリートの設計基準強度	19.流動化コンクリート (6.15.1)	18.無筋コンクリート (6.14.1)	15.アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)(7.4.2)	10.タンパックル (7.2.6)	11.デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	27.軽量形鋼構造 (7.11.2)	15.ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板																																				
		8.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	軽量コンクリートの種類 ・ 1類 ・ 2類								<table border="1"> <tr><th>設計基準強度 Fc</th><th>適用箇所</th><th>スランブ</th></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>基礎</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>土間コンクリート</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 18(N/mm)</td><td>捨コン</td><td>○ 15(cm)</td></tr> </table>	設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ	○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)	○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)	○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)	9.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 類 類 	9.押出成形セメント板 (8.5.2)(8.5.3)(8.5.4)(表8.5.1)(8.5.5)(表8.5.2)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>表面形状及び原料区分</th><th>板厚(mm)</th><th>働き幅(mm)</th><th>工法</th></tr> <tr><td>・ 外壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr> <tr><td>・ 間仕切壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ (60)</td><td>・ (600)</td><td>・ B種 ・ C種</td></tr> </table>	種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法	・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種				
設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ																																												
○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)																																												
○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)																																												
○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)																																												
種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法																																										
・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種																																										
・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種																																										
17	コンクリート工事	8.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	普通コンクリートの設計基準強度	20.流動化コンクリート (6.15.1)	19.無筋コンクリート (6.14.1)	16.アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)(7.4.2)	10.タンパックル (7.2.6)	11.デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	28.軽量形鋼構造 (7.11.2)	16.ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板																																				
		9.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	軽量コンクリートの種類 ・ 1類 ・ 2類								<table border="1"> <tr><th>設計基準強度 Fc</th><th>適用箇所</th><th>スランブ</th></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>基礎</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>土間コンクリート</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 18(N/mm)</td><td>捨コン</td><td>○ 15(cm)</td></tr> </table>	設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ	○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)	○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)	○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)	10.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 類 類 	10.押出成形セメント板 (8.5.2)(8.5.3)(8.5.4)(表8.5.1)(8.5.5)(表8.5.2)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>表面形状及び原料区分</th><th>板厚(mm)</th><th>働き幅(mm)</th><th>工法</th></tr> <tr><td>・ 外壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr> <tr><td>・ 間仕切壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ (60)</td><td>・ (600)</td><td>・ B種 ・ C種</td></tr> </table>	種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法	・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種				
設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ																																												
○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)																																												
○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)																																												
○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)																																												
種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法																																										
・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種																																										
・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種																																										
18	コンクリート工事	9.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	普通コンクリートの設計基準強度	21.流動化コンクリート (6.15.1)	20.無筋コンクリート (6.14.1)	17.アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)(7.4.2)	10.タンパックル (7.2.6)	11.デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	29.軽量形鋼構造 (7.11.2)	17.ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板																																				
		10.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	軽量コンクリートの種類 ・ 1類 ・ 2類								<table border="1"> <tr><th>設計基準強度 Fc</th><th>適用箇所</th><th>スランブ</th></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>基礎</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>土間コンクリート</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 18(N/mm)</td><td>捨コン</td><td>○ 15(cm)</td></tr> </table>	設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ	○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)	○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)	○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)	11.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 類 類 	11.押出成形セメント板 (8.5.2)(8.5.3)(8.5.4)(表8.5.1)(8.5.5)(表8.5.2)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>表面形状及び原料区分</th><th>板厚(mm)</th><th>働き幅(mm)</th><th>工法</th></tr> <tr><td>・ 外壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr> <tr><td>・ 間仕切壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ (60)</td><td>・ (600)</td><td>・ B種 ・ C種</td></tr> </table>	種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法	・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種				
設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ																																												
○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)																																												
○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)																																												
○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)																																												
種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法																																										
・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種																																										
・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種																																										
19	コンクリート工事	10.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	普通コンクリートの設計基準強度	22.流動化コンクリート (6.15.1)	21.無筋コンクリート (6.14.1)	18.アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)(7.4.2)	10.タンパックル (7.2.6)	11.デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	30.軽量形鋼構造 (7.11.2)	18.ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板																																				
		11.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	軽量コンクリートの種類 ・ 1類 ・ 2類								<table border="1"> <tr><th>設計基準強度 Fc</th><th>適用箇所</th><th>スランブ</th></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>基礎</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>土間コンクリート</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 18(N/mm)</td><td>捨コン</td><td>○ 15(cm)</td></tr> </table>	設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ	○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)	○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)	○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)	12.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 類 類 	12.押出成形セメント板 (8.5.2)(8.5.3)(8.5.4)(表8.5.1)(8.5.5)(表8.5.2)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>表面形状及び原料区分</th><th>板厚(mm)</th><th>働き幅(mm)</th><th>工法</th></tr> <tr><td>・ 外壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr> <tr><td>・ 間仕切壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ (60)</td><td>・ (600)</td><td>・ B種 ・ C種</td></tr> </table>	種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法	・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種				
設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ																																												
○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)																																												
○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)																																												
○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)																																												
種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法																																										
・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種																																										
・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種																																										
20	コンクリート工事	11.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	普通コンクリートの設計基準強度	23.流動化コンクリート (6.15.1)	22.無筋コンクリート (6.14.1)	19.アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)(7.4.2)	10.タンパックル (7.2.6)	11.デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	31.軽量形鋼構造 (7.11.2)	19.ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板																																				
		12.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	軽量コンクリートの種類 ・ 1類 ・ 2類								<table border="1"> <tr><th>設計基準強度 Fc</th><th>適用箇所</th><th>スランブ</th></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>基礎</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>土間コンクリート</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 18(N/mm)</td><td>捨コン</td><td>○ 15(cm)</td></tr> </table>	設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ	○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)	○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)	○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)	13.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 類 類 	13.押出成形セメント板 (8.5.2)(8.5.3)(8.5.4)(表8.5.1)(8.5.5)(表8.5.2)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>表面形状及び原料区分</th><th>板厚(mm)</th><th>働き幅(mm)</th><th>工法</th></tr> <tr><td>・ 外壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr> <tr><td>・ 間仕切壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ (60)</td><td>・ (600)</td><td>・ B種 ・ C種</td></tr> </table>	種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法	・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種				
設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ																																												
○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)																																												
○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)																																												
○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)																																												
種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法																																										
・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種																																										
・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種																																										
21	コンクリート工事	12.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	普通コンクリートの設計基準強度	24.流動化コンクリート (6.15.1)	23.無筋コンクリート (6.14.1)	20.アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)(7.4.2)	10.タンパックル (7.2.6)	11.デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	32.軽量形鋼構造 (7.11.2)	20.ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板																																				
		13.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	軽量コンクリートの種類 ・ 1類 ・ 2類								<table border="1"> <tr><th>設計基準強度 Fc</th><th>適用箇所</th><th>スランブ</th></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>基礎</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 21(N/mm)</td><td>土間コンクリート</td><td>○ 18(cm)</td></tr> <tr><td>○ 18(N/mm)</td><td>捨コン</td><td>○ 15(cm)</td></tr> </table>	設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ	○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)	○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)	○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)	14.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 類 類 	14.押出成形セメント板 (8.5.2)(8.5.3)(8.5.4)(表8.5.1)(8.5.5)(表8.5.2)	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>表面形状及び原料区分</th><th>板厚(mm)</th><th>働き幅(mm)</th><th>工法</th></tr> <tr><td>・ 外壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr> <tr><td>・ 間仕切壁パネル</td><td>・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル[△]</td><td>・ (60)</td><td>・ (600)</td><td>・ B種 ・ C種</td></tr> </table>	種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法	・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種	・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種				
設計基準強度 Fc	適用箇所	スランブ																																												
○ 21(N/mm)	基礎	○ 18(cm)																																												
○ 21(N/mm)	土間コンクリート	○ 18(cm)																																												
○ 18(N/mm)	捨コン	○ 15(cm)																																												
種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法																																										
・ 外壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ ()	・ ()	・ A種 ・ B種																																										
・ 間仕切壁パネル	・ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル [△]	・ (60)	・ (600)	・ B種 ・ C種																																										
22	コンクリート工事	13.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	普通コンクリートの設計基準強度	25.流動化コンクリート (6.15.1)	24.無筋コンクリート (6.14.1)	21.アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)(表7.2.3)(7.4.2)	10.タンパックル (7.2.6)	11.デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	33.軽量形鋼構造 (7.11.2)	21.ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板																																				
		14.コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	軽量コンクリートの種類 ・ 1類 ・ 2類								<table border="1"> <tr><th>設計基準強度 Fc</th><th>適用</th></tr></table>	設計基準強度 Fc	適用																																	
設計基準強度 Fc	適用																																													

3. 集成材等	造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材	樹種・寸法・形状	等級	含水率				
	造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()					
4. 床張り用合板及びその他の合板 (12.2.1)	化粧ばり造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()					
	化粧ばり構造用集成材	・ 図示 (図面番号:)						
5. 防蟻・防蟻処理 (12.3.1) (12.3.2)	「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、防虫処理、難燃処理及び含水率 ・ 図面 (図面番号:) 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ ()	部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ
	厚さ15mmのパーティクルボードを使用する場合 曲げ強さ、接着剤による区分等 ・ ()	防蟻・防蟻処理 薬剤加圧注入 保存処理性能区分 ・ () 薬剤の塗布等処理方法 ・ () ボード減量接着剤への防蟻・防蟻処理 ・ () 防虫処理 ・ ()						
13 屋根及びとい工事	1. 長尺金属板 (13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1)	屋根葺形式	材種	厚さ (mm)	下葺の種類	備考		
	2. 折板葺 (13.3.2) (13.3.3)	・ 塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金メッキ鋼板	・ 0.4	・ アスファルトルーフィング940				
3. 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3)	嵌合式	・ フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板	・ 0.4	・ ゴムアスファルトルーフィング940				
	雪止め	・ 図示 (図面番号:)						
4. とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (表13.5.3) (表13.5.5)	緊結方法	板厚 (mm)	山の高さ (mm)	山のピッチ (mm)				
	○ 重ね形 ・ はせ締め形	・ 0.8 ○ 0.6	○ 90 ・ (140)	○ (550)				
5. 鋼管製といの防露巻工法 (13.5.2) (表13.5.2) (表13.5.3)	○ 塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金メッキ鋼板	○ あり	○ なし					
	○ フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板							
6. 鋼管製といの防露巻工法 (13.5.2) (表13.5.2) (表13.5.3)	断熱材	○ あり	種別	・ ガラス繊維シート	○ (ベフ裏貼り)			
	厚さ (mm)	・ 5	○ (4)					
7. 鋼管製といの防露巻工法 (13.5.2) (表13.5.2) (表13.5.3)	種別	大きさ	産地	役物の種類	棟の工法			
	・ 雪止め瓦を使用する ・ 瓦葺木の材種、寸法 ・ 棟補強用心材	・ 杉又は桧 21×15 ・ 杉又は桧 40×30						
8. 鋼管製といの防露巻工法 (13.5.2) (表13.5.2) (表13.5.3)	棟の工法	・ 図示 (図面番号:)						
	材種	○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・ 配管用鋼管 (白管) ○ (VU 60)						
9. 鋼管製といの防露巻工法 (13.5.2) (表13.5.2) (表13.5.3)	工法	鋼管製といの防露巻工法 ・ あり ・ なし						
	備考	設計図書とカクイチ標準仕様との違いはカクイチ標準仕様を正とする。						

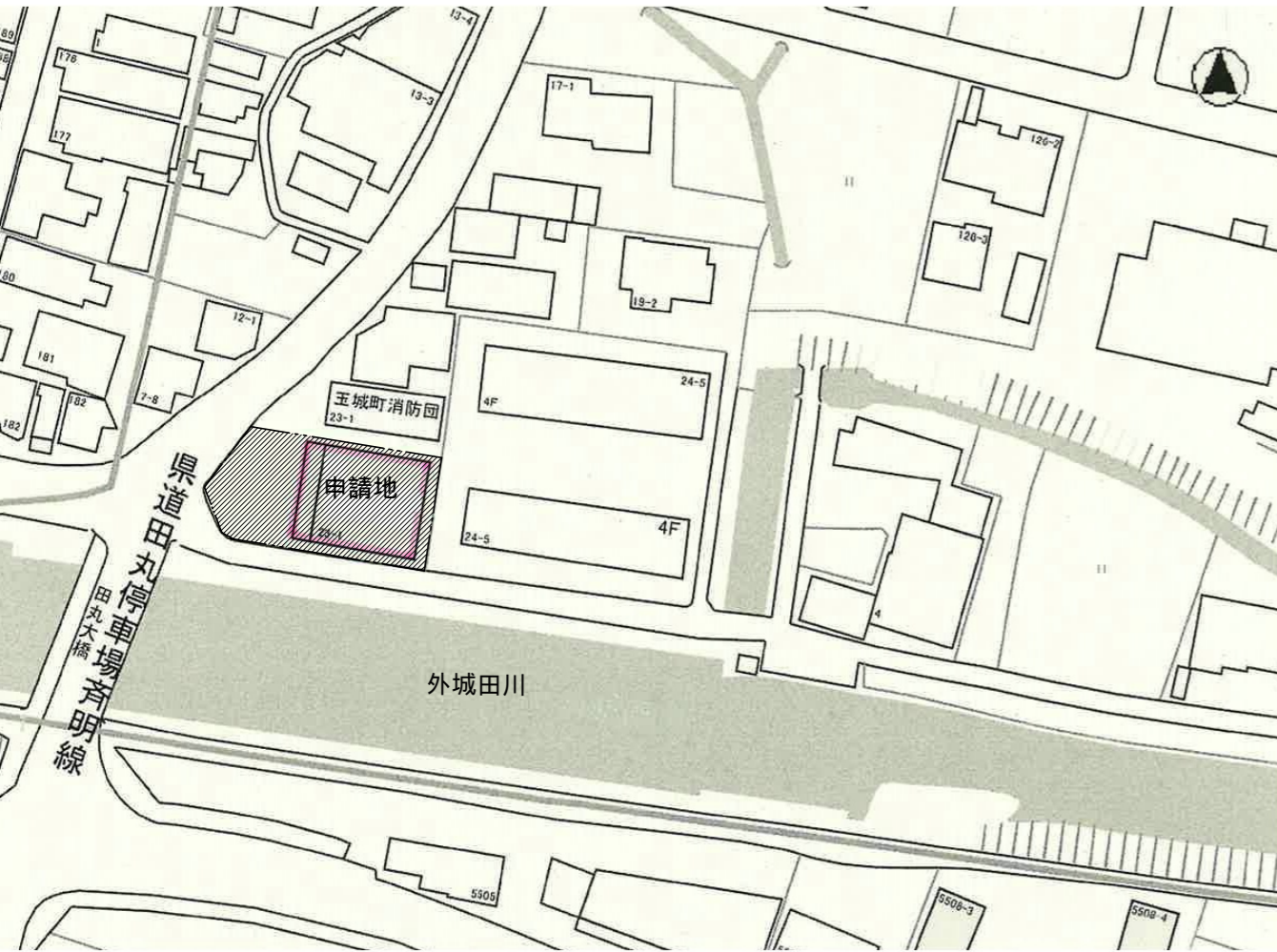
14 金属工事	1. あと施工アンカー (14.1.3)	・ 引抜き耐力の確認試験を行う ・ 引張試験 ・ ()		
	2. ステンレス (14.2.2) (表14.2.2)	表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ()		
3. アルミニウム (14.2.2) (表14.2.1)	表面処理	種別 ・ A-1 ・ A-2 ・ B-1 ・ B-2 ・ C-1 ・ C-2 ・ D 陽極酸化被膜の着色方法 ・ 二次電解着色 ・ ()		
	4. 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3) (表14.2.2)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種		
5. 軽量鉄骨 (14.4.2) (表14.4.1) (表14.4.2) (表14.4.4)	野縁などの種類	屋内 ・ 19型 ・ () 屋外 ・ 25型 ・ ()		
	形状及び寸法	・ 屋外 (図示 (図面番号:)) ・ 天井ふところ 1.5m 標仕14.4.4(h) ・ 図示 (図面番号:) ・ 天井ふところ > 3.0m (図示 (図面番号:)) ・ 耐震天井 (図示 (図面番号:)) 屋外の場合の野縁受等の間隔等 ・ 図示 (図面番号:)		
6. 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) (表14.5.1)	スタッド、ランナーの種類	・ 標仕 [表14.5.1] による ・ 図示 (図面番号:)		
	スタッドの高さが5mを超える場合	・ 図示 (図面番号:)		
7. 金属成形板板張り (14.6.2) (14.6.3)	施工箇所			
	材種	・ アルミニウム ・ ステンレス ・ 鋼 ○ フッ素樹脂塗装 ○ ガルバリウム鋼板		
8. アルミニウム製笠木 (14.7.2) (表14.7.1) (表14.7.3)	形状	・ スパンドレル形 ・ パネル形		
	表面処理			
9. 手すり (14.8.2)	取付け用下地	・ 図示 (図面番号:) 長尺ものにおける伸縮調整継手 ・ 設ける (施工箇所 図示 (図面番号:))		
	材種	表面処理の種別	施工箇所	
10. タラップ (14.8.3)	アルミニウム	・ 木目調 ・ ()	スロープ・階段	
	鋼	・ 標仕 [表14.2.2] の種別 (種)		
11. 天井見切縁 (14.7.3)	ステンレス	・ HL程度 ・ ()		
	材種	表面処理の種別	施工箇所	
12. 点検口	鋼	・ 標仕 [表14.2.2] の種別 (種)		
	ステンレス			
15 左官工事	材種	・ アルミニウム合金製 ・ 塩化ビニル製		
	取付箇所	材種	寸法	形式
16 建具工事	・ 天井	・ アルミニウム製	・ 450角 ・ 600角	・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ
	・ 床	・ アルミニウム製	・ 450角 ・ 600角	
17 木製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	・ 屋上	・ ステンレス製		
	種別	・ A種 ・ B種 ・ ()		
18 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	仕上げ吹付け厚さ () mm			
	種別	・ A種 ・ B種 ・ ()		
19 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	樹脂種類	溶媒種類	外観	
	・ アクリル系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ メタリック
20 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	
	・ ポリウレタン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ メタリック
21 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ メタリック
	・ ふっ素系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ メタリック
22 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
23 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
24 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
25 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
26 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
27 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
28 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
29 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
30 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
31 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
32 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
33 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
34 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
35 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
36 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
37 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
38 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
39 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
40 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
41 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
42 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
43 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
44 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
45 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
46 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
47 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
48 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
49 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
50 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
51 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
52 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
53 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
54 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
55 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
56 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
57 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
58 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
59 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
60 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
61 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
62 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
63 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
64 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
65 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
66 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
67 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
68 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
69 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
70 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
71 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
72 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
73 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
74 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	鋼板類の表面仕上げ	・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)		
	召し合せ、縦小口包み板等の材質	・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材		
75 鋼製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.2) (表16.7.3)	戸の H>2400 又は W>950 鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
	鋼板類の厚さ	・ 図示 (図面番号:)		
7				

工事概要	
工事名称	玉城町防災倉庫新築工事
工事場所	三重県度会郡玉城町佐田23番1
用途地域	第二種住居地域
防火地域	指定なし
地域・地区等	法第22条区域
建築用途	防災倉庫
建物構造	鉄骨造 平屋建
下水処理	
敷地面積	583.30㎡
建築面積	138.16㎡
延べ床面積	138.16㎡

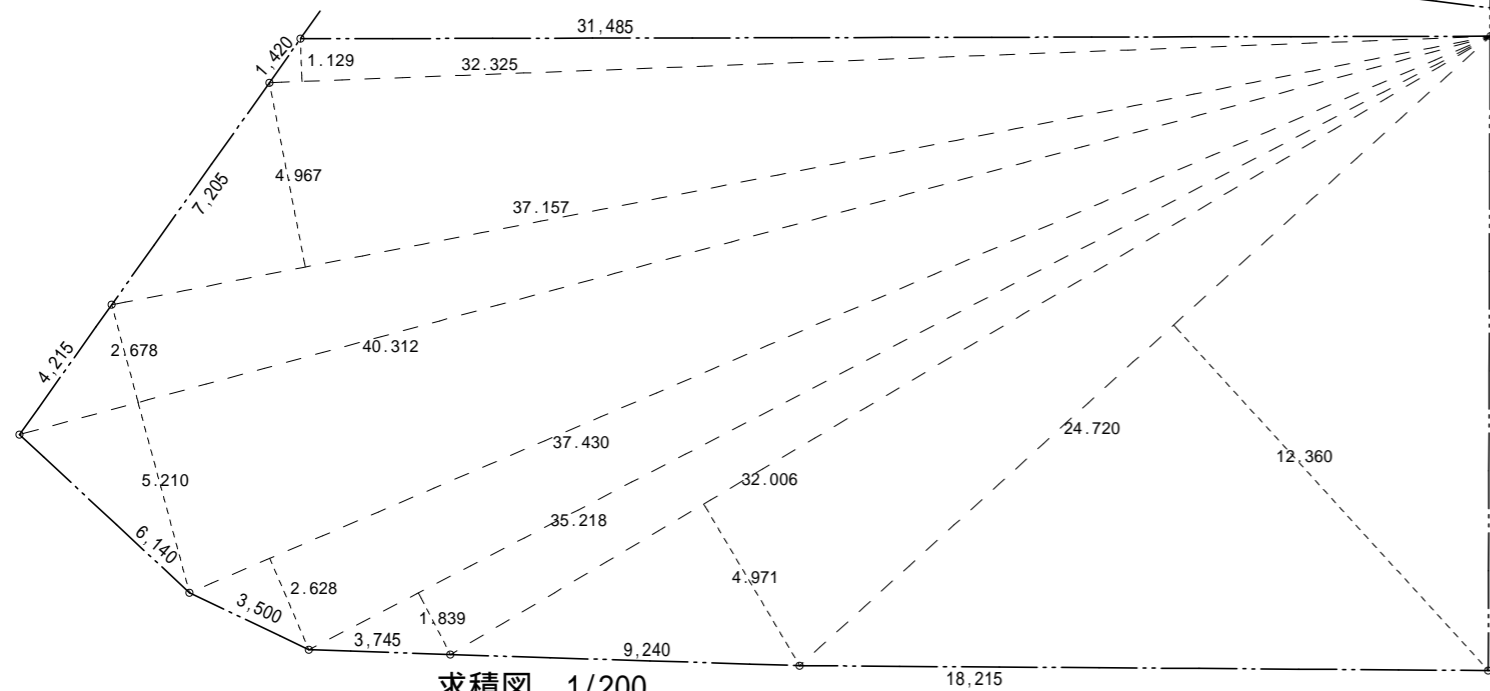
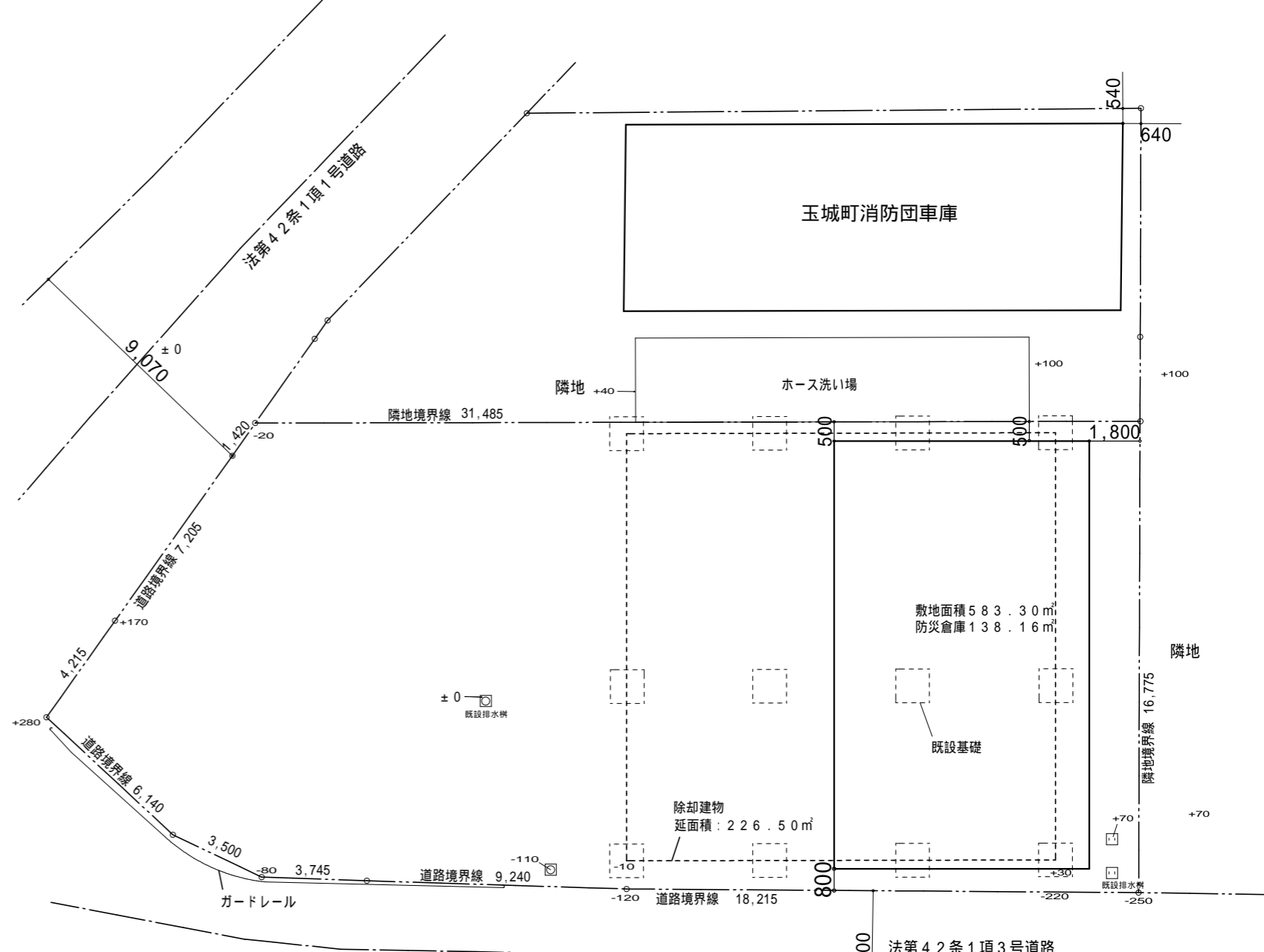
外部仕上表				
部位	名称	メーカー	備考	
屋根	折板 ルーフ600タイプ カラー-SGL鋼板 t=0.6 内部断熱材裏打4mm	日鉄鋼板 同等品	不燃材認定 NM-0758	
雨樋	軒樋：折板前高105型 カラー 縦樋：VU 60 カラー			
外壁	カラー-SGL鋼板 t=0.35 角波750型	日鉄鋼板 同等品		
根廻り				
土間	コンクリート金ゴテ仕上			
天井断熱材				
壁 断熱材				

建具				
種別	項目	メーカー	W x H	備考
外部建具	引分けハンガー戸	三和シャッター 文化シャッター同等品	2,700 x 3,100	防塵ゴム
	鉄骨用引違いアルミサッシ		1,700 x 900シルバー	ラフワイヤー t=6.8
その他				
石綿等の規制	石綿その他の著しく衛生上有害なものとして政令で定める物質を添加した材料を使用しない			
シックハウス規制	仕上材(接着材共)は全てF としする。			
その他	設計図書に記載なきはi樹カクイチ HKL-5050型に準ず			

内部仕上表							
階	室名	仕上材	巾木	壁	天井	廻縁	備考
1階	防災倉庫	コンクリート金ゴテ仕上		鉄骨表し SOP塗	鉄骨表し SOP塗		



見取図

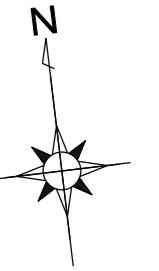


求積図 1/200

敷地求積	
32.325x1.129	= 36.49492
37.157x4.967	= 184.55882
40.312x2.678	= 107.95554
40.312x5.210	= 210.02552
37.430x2.628	= 98.3660
35.218x1.839	= 64.76590
32.006x4.971	= 159.10182
24.720x12.360	= 305.5392
倍面積	~ = 1166.80
地積	583.40

外城田川

配置図 1/200



備考	
----	--

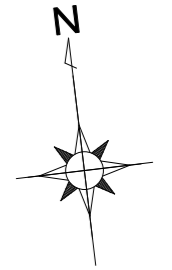
一級建築士登録 第84137号 木村修一	名称	玉城町防災倉庫新築工事設計図	図面番号
DATE 2023.03.31	DRAW KIMURA	CHECK KIMURA	No. A-07

図名	配置図
----	-----

縮尺	A3:1:200
----	----------

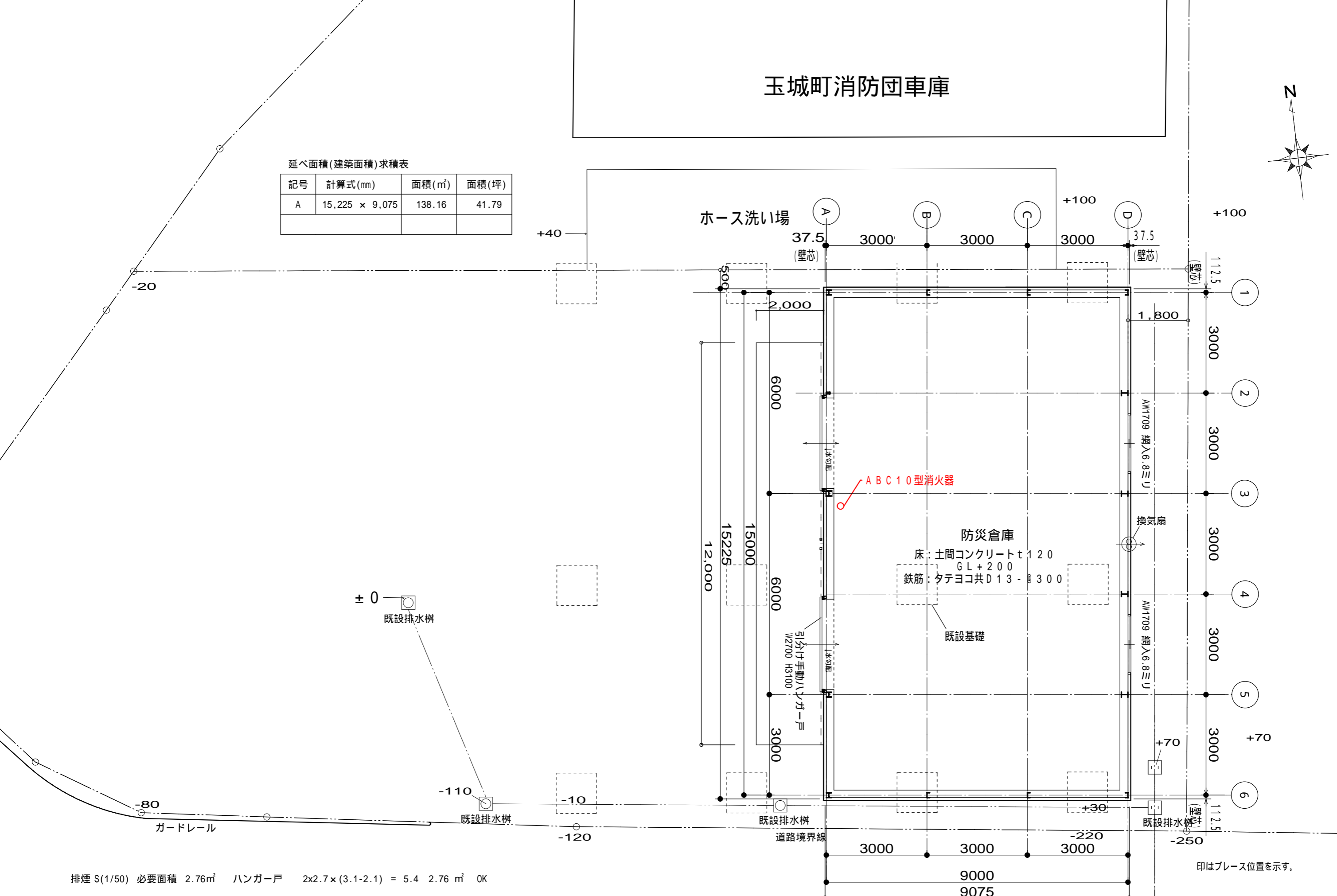
縮尺	A3:1:200
----	----------

玉城町消防団車庫



延べ面積(建築面積)求積表

記号	計算式(mm)	面積(m ²)	面積(坪)
A	15,225 × 9,075	138.16	41.79



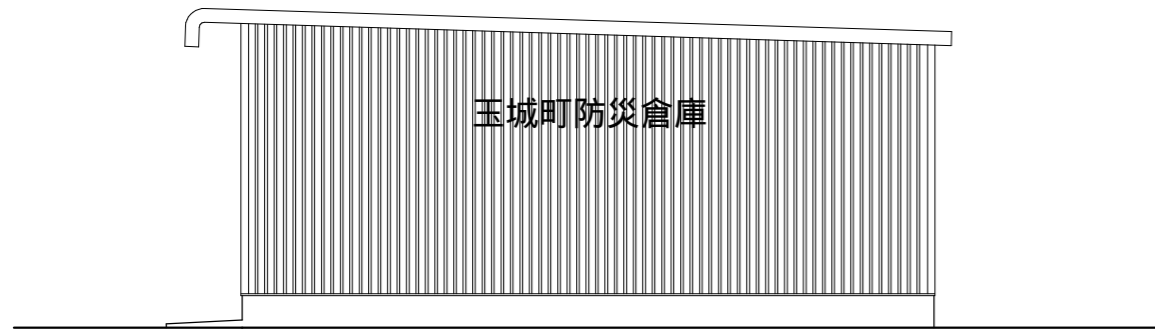
排煙 S(1/50) 必要面積 2.76㎡ ハンガー戸 2x2.7x(3.1-2.1) = 5.4 2.76㎡ OK

印はブレース位置を示す。

備考	名称			防災倉庫新築工事設計図		図面番号
	DATE	DRAW	CHECK	図名	HKL5050 平面図	A3 1:100 No. A-08
	2023.02.06					

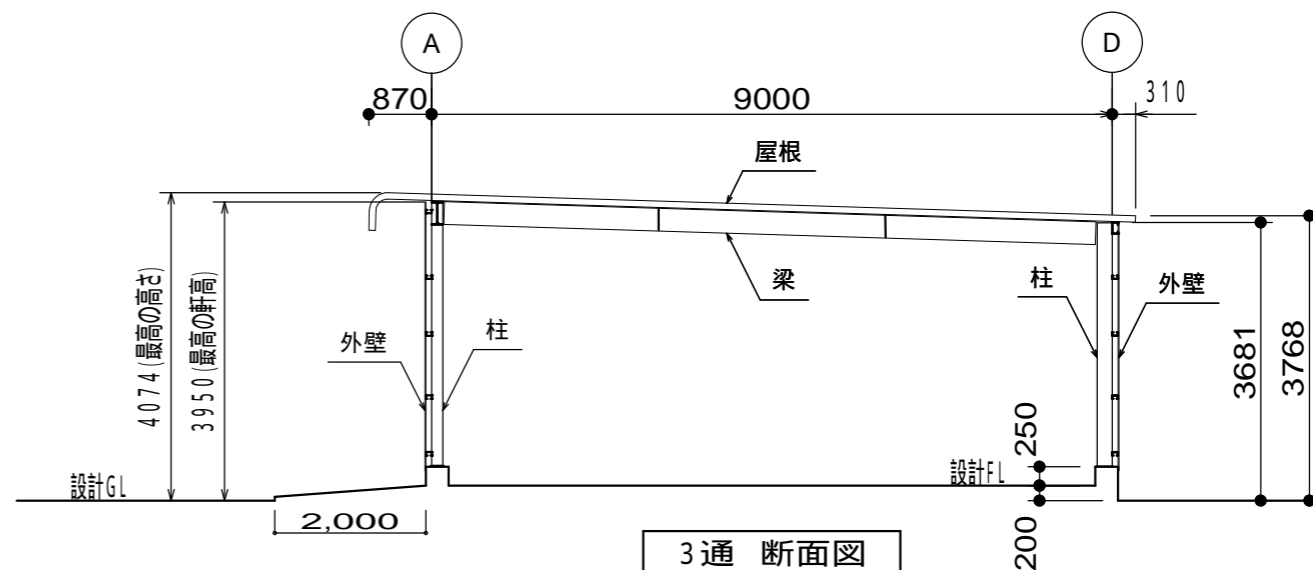
-220

-300

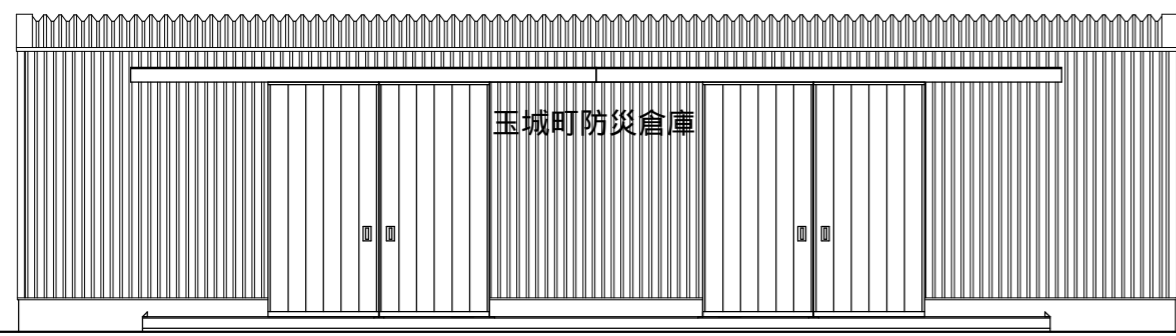


6通 立面図

道路斜線は充分あり作図範囲外



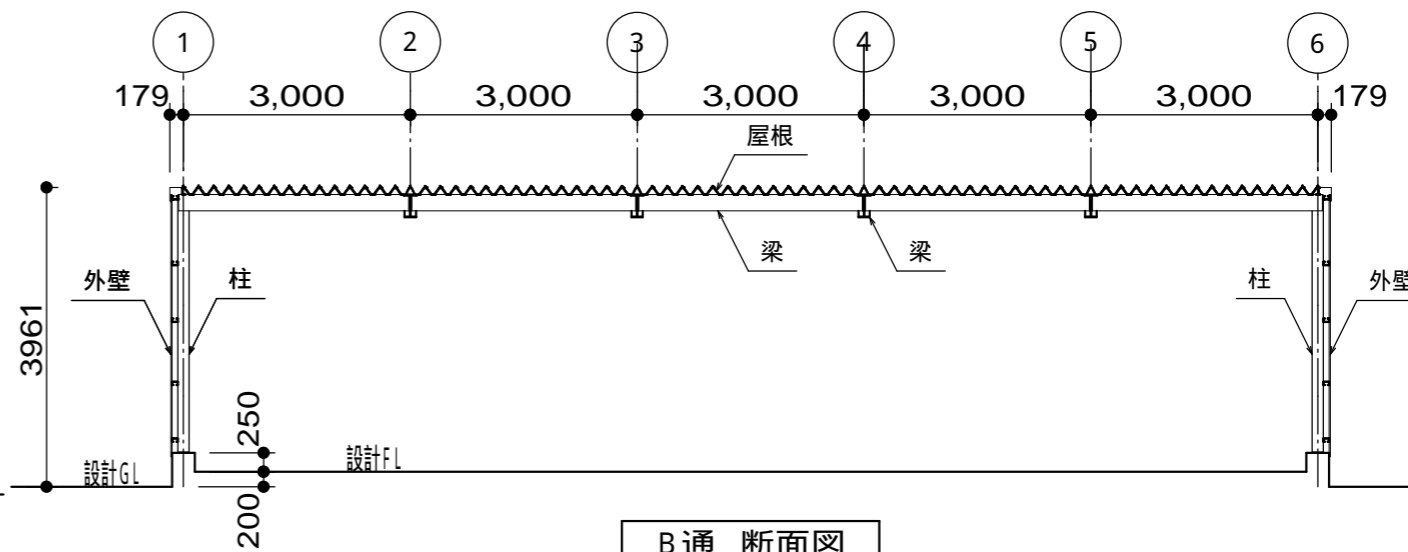
3通 断面図



A通 立面図

防災倉庫文字 約400角 カuttingシート張り

道路斜線は充分あり作図範囲外

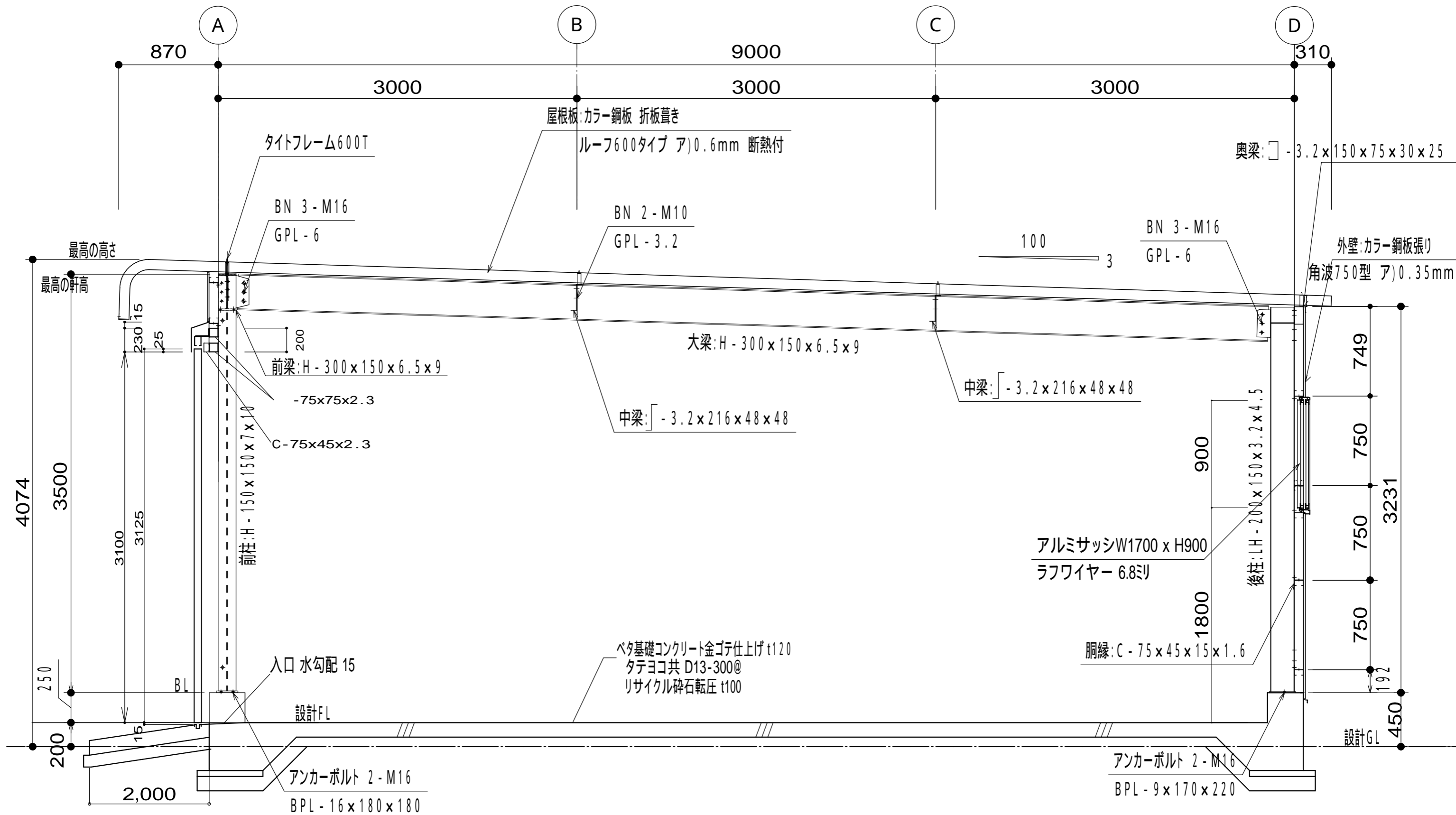


B通 断面図

面積	138.16㎡
主要構造部	鉄骨造
屋根	カラー鋼板 折板ルーフ600タイプ
外壁	カラー鋼板 角波750型

備考

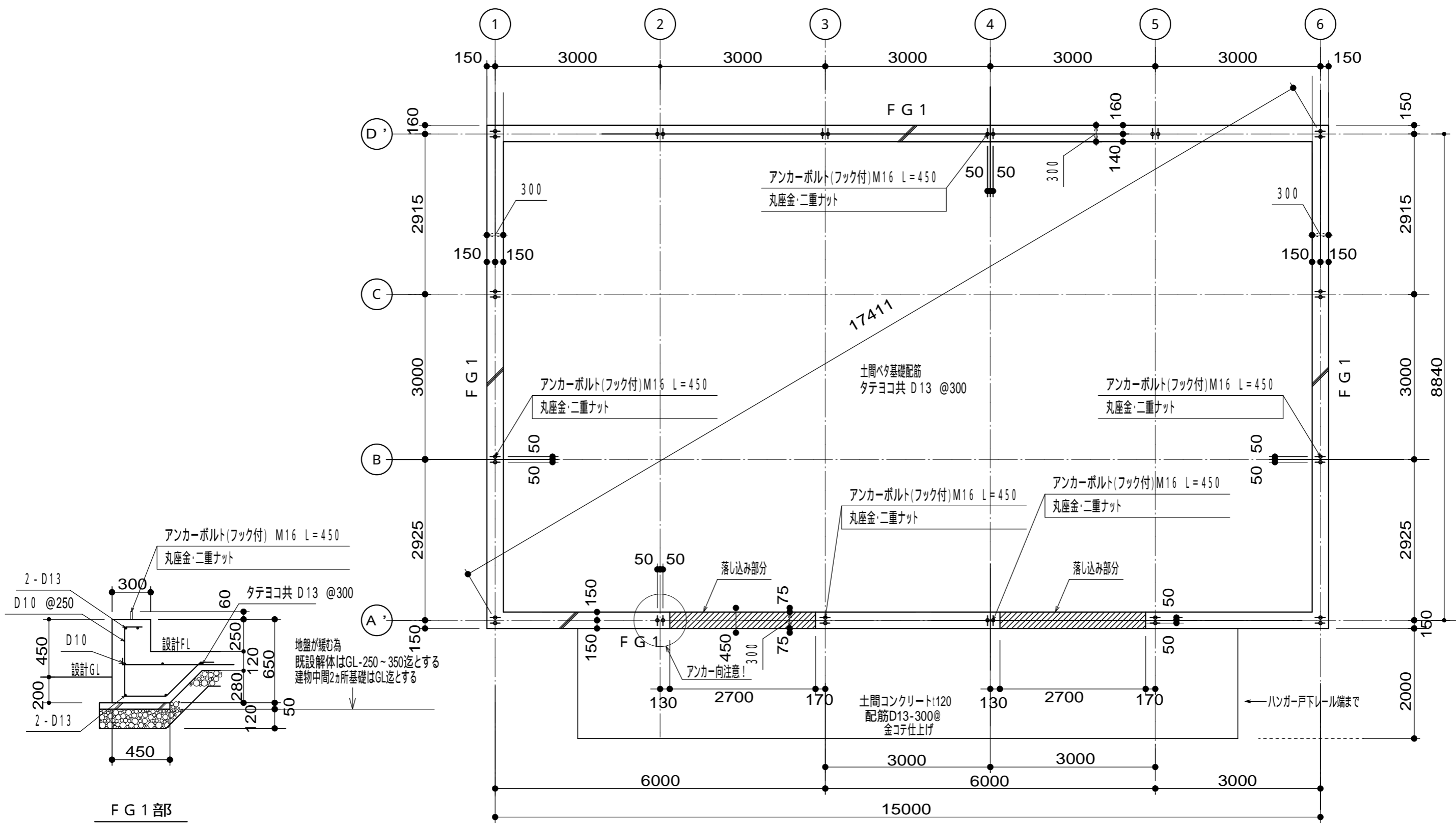
名称	防災倉庫新築工事設計図			図面番号
DATE	DRAW	CHECK	図名	No. A-09
2023.02.06			HKL5050 立面図 断面図	A3 1:100



備考

DATE	DRAW	CHECK
2023.02.08		

名称	玉城町防災倉庫新築工事設計図	図面番号
図名	HKL5050 矩計図	A3 1:30 No. A-10



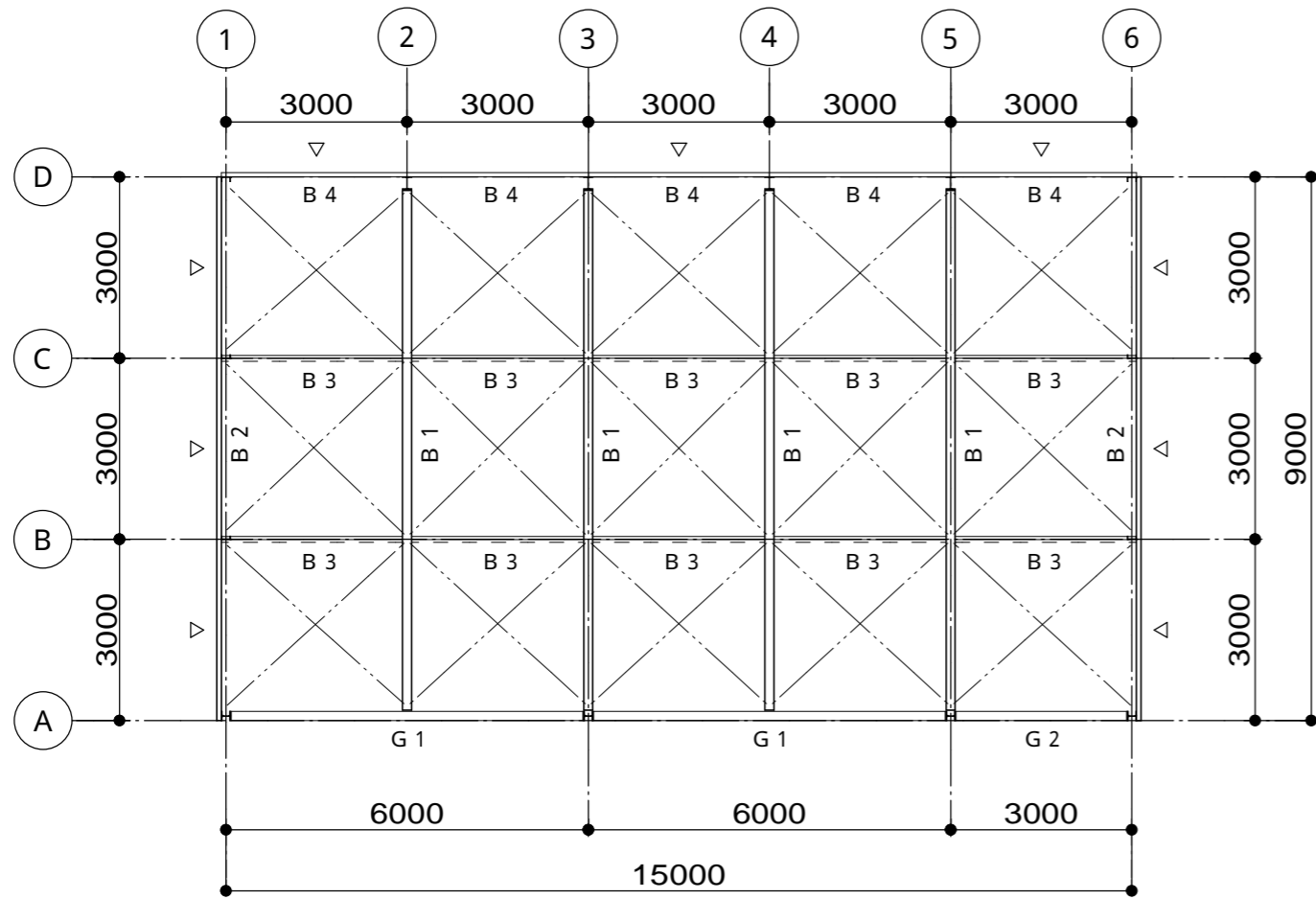
基礎詳細図 1 / 30

基礎伏図 1 / 70

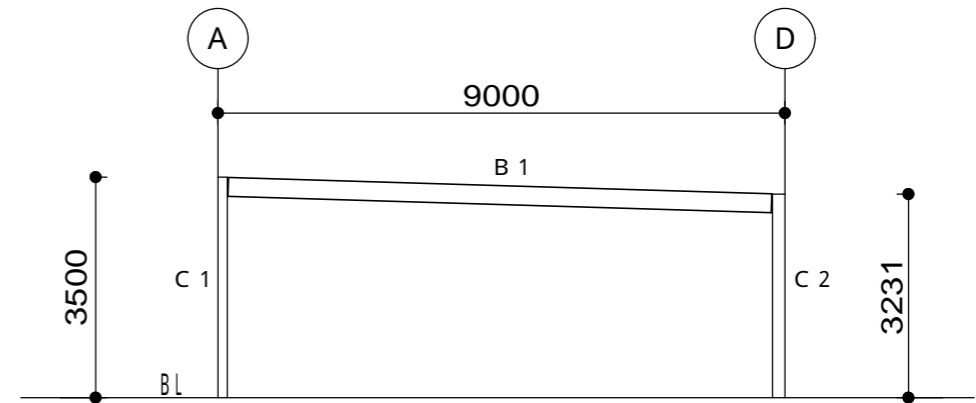
— 施工時のお願い —
 この図面はアンカー芯を表示しています。
 隣地境界線からの寸法には充分注意して下さい。

寸法公差 ± 2 mm

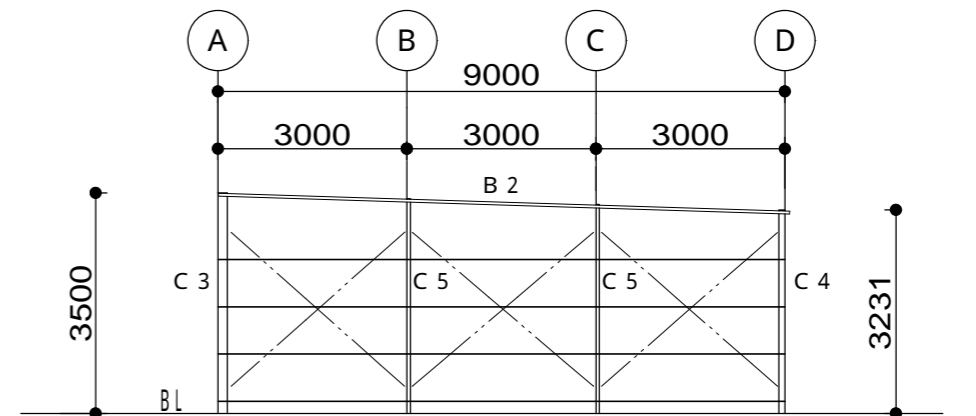
備考	一級建築士登録 第84137号 木村修一			名称	玉城町防災倉庫新築工事設計図		図面番号
	DATE	DRAW	CHECK	図名	HKL5050 基礎伏図・基礎詳細図	A3 1:70	No. A-11
	2023.02.08						



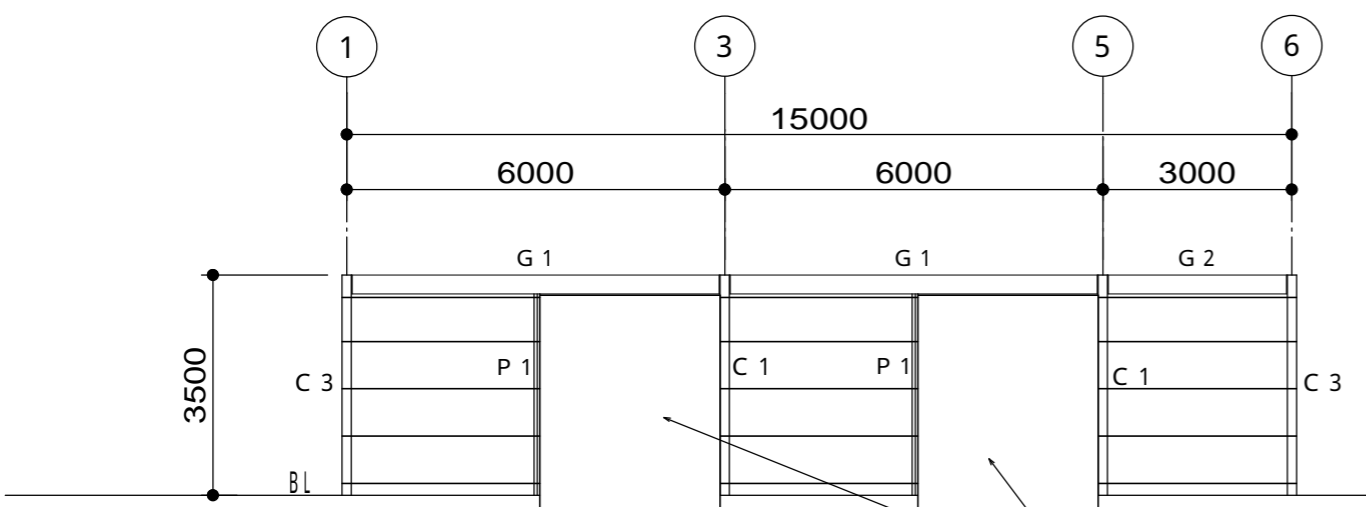
小屋伏図 印はブレース位置を示す。



3・5通 軸組図

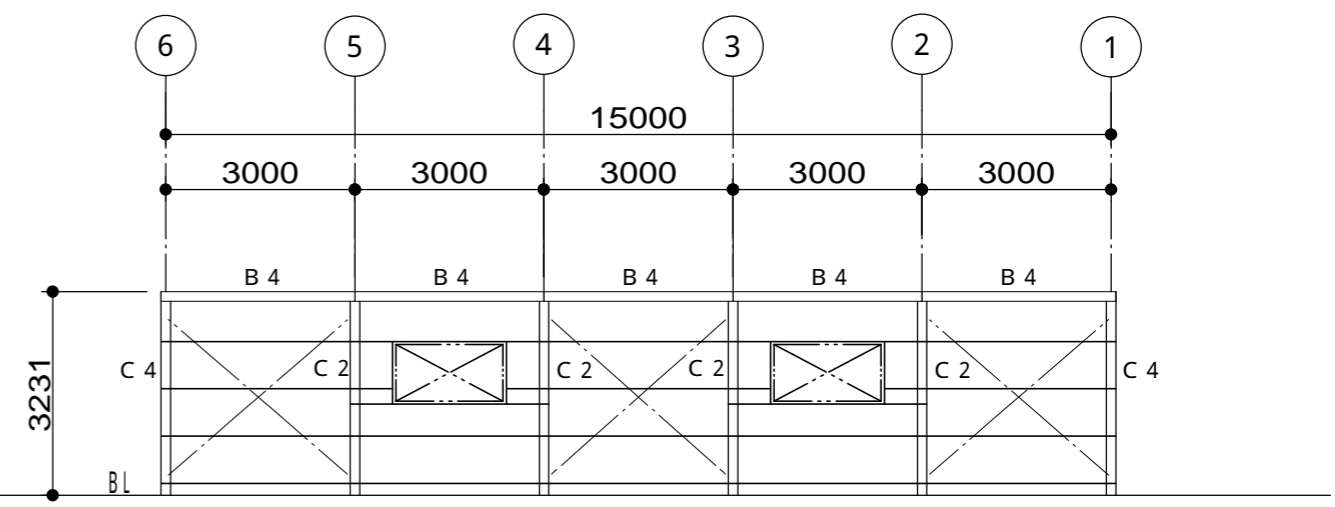


6通 軸組図



A通 軸組図

開口部補強材はハンガー戸納まり図参照

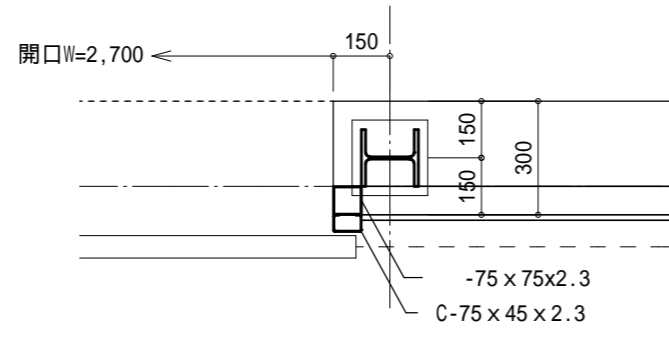


D通 軸組図

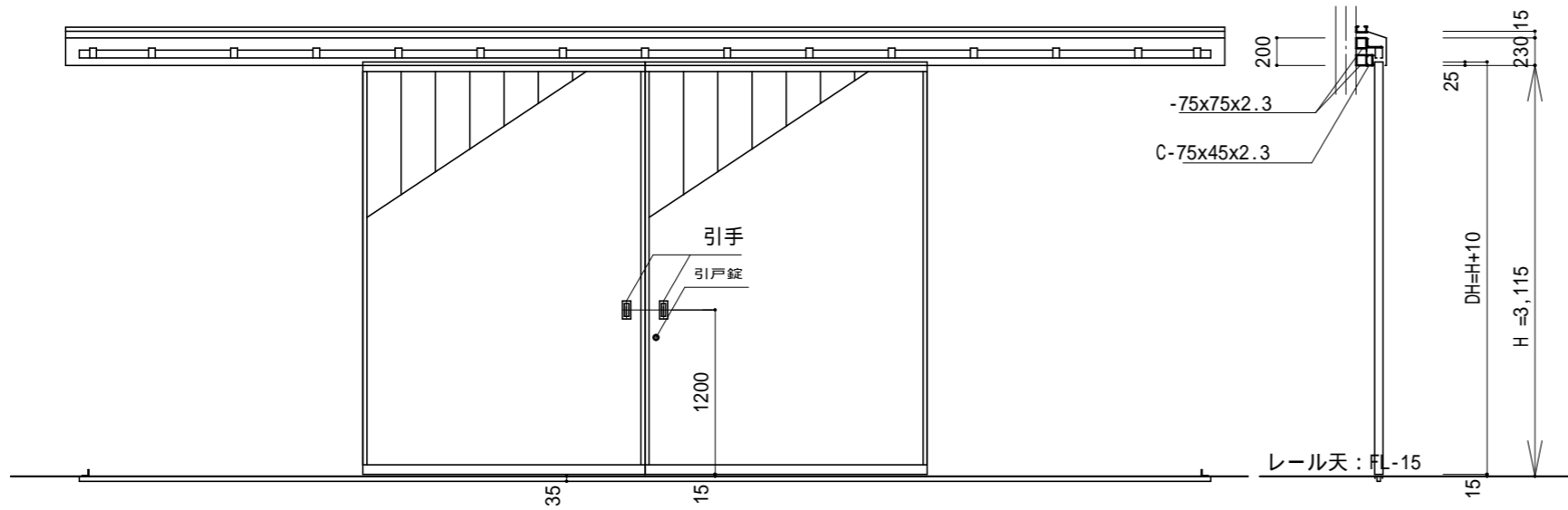
リスト

符号	メンバ -	符号	メンバ -	符号	メンバ -	符号	メンバ -
C 1	H - 150 × 150 × 7 × 10	C 5	□ - 4.5 × 150 × 54	B 3	┌ - 3.2 × 216 × 48 × 48	妻柱ブレース	1 - M12 ターンバックル締め
C 2	LH - 200 × 150 × 3.2 × 4.5	G1・G2	H - 300 × 150 × 6.5 × 9	B 4	□ - 3.2 × 150 × 75 × 30 × 25	桁柱ブレース	1 - M12 ターンバックル締め
C 3	H - 150 × 150 × 7 × 10	B 1	H - 300 × 150 × 6.5 × 9	胴縁	C - 75 × 45 × 15 × 1.6	小屋ブレース	1 - M10 ターンバックル締め
C 4	□ - 4.5 × 150 × 75	B 2	C - 75 × 45 × 15 × 2.3	P 1	- 100 × 50 × 2.3		

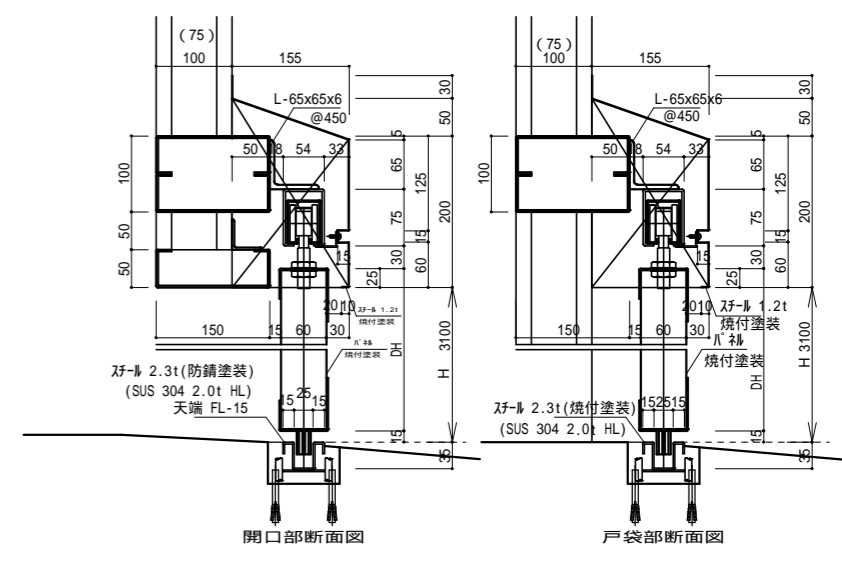
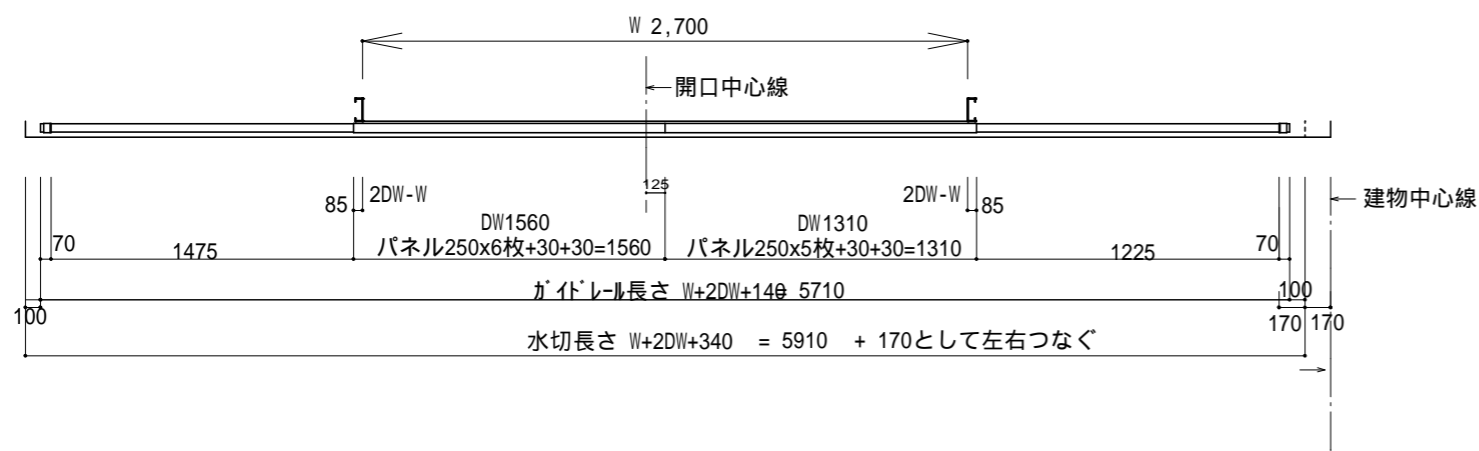
備考



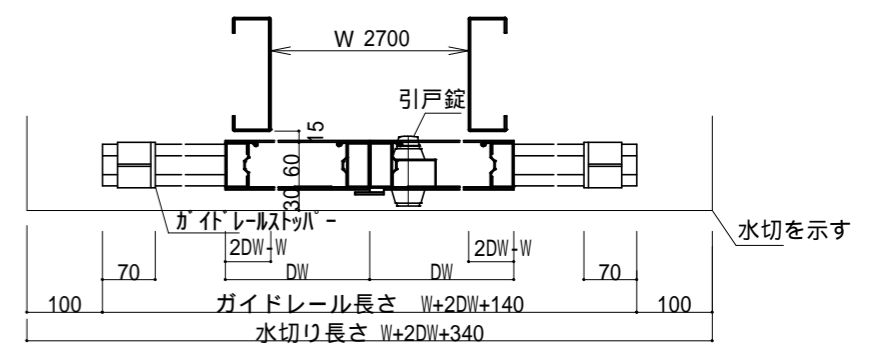
ハンガー戸開口詳細図 S=1/20



ハンガー戸立面図 平面図 S=1/50



ハンガー戸 断面参考図 S=1/10
(施工図によること)



ハンガー戸 平面詳細図 S=1/10

備考	名称	玉城町防災倉庫新築工事設計図			図面番号
		図名	ハンガー戸納まり図	1:10 1:50	
	DATE	DRAW	CHECK		
	2023.02.08				

工事名称
防災倉庫新築工事設計図

仕 様 書

・工事概要
1. 工事場所 三重県東牟婁郡玉城町
2. 建物概要

建物名称	構造及び階数	延面積	消法令の適用	備 考
防災倉庫	平屋建て	m ²	別表第一(14)項	

3. 工事種目(印の付いたものが対象工事)

工事種目	建 物 別 及 び 屋 外			
	倉庫			
・ 電灯設備	○			
・ 動力設備				
・ 電熱設備				
・ 雷保護設備				
・ 受変電設備				
・ 静止形電源設備				
・ 発電設備				
・ 構内情報通信網設備				
・ 構内交換設備				
・ 情報表示設備				
・ 映像・音響設備				
・ 拡声設備				
・ 誘導支援設備				
・ テレビ共同受信設備				
・ 監視カメラ設備				
・ 駐車場管制設備				
・ 防犯・入室管理設備				
・ 自動火災報知設備				
・ 中央監視制御設備				
・ 構内配電線路				
・ 構内通信線路				
・ テレビ電波障害防除設備				
・ 換気設備(電灯設備を含む)	○			

4. 指定部分 ・ 無 ・ 有
対象部分：

工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて公共建築工事標準仕様書(電気設備工学編)(最新版)(以下「標準仕様書」という。)、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備編)(最新版)(以下「改修標準仕様書」という。)及び公共建築設備工事標準仕様書(電気設備編)(最新版)(以下「標準図」という。)による。
(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様書を適用する。なお、機械設備工事の仕様書は(/)図、建築工事の仕様書は(/)図による。

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、 印の付いたものを適用する。
○印と○印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の(改)内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

一 般 事 項

1. 完成材の処理等

2. 環境への配慮

3. 機材等

4. 機材の品質・性能証明

5. 機器姿

6. 機材等の検査及び試験

7. 電気工事士

8. 諸手続きその他

9. 施工図等

10. 施工の検査等

11. 工事検査

12. 完成時の提出図書

13. 工事写真

14. 費生その他

15. 共通事項

16. 工事看板等

建設副産物に関しては、標準仕様書 1.3.9によるほか、(1編 1.3.9)
建築工事における建設副産物管理マニュアルに従い適切に処理する。
・ 引渡しを要するもの (・ 金属類 ・ 塗料 ・ 電線、ケーブル)
・ 特別管理産業廃棄物 (・ P C B 使用機器 ・)
・ 特別管理産業廃棄物の処理方法
P C B 使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。
照明器具安定器に P C B が使用されている場合は、安定器を本体より分離し金属屑に収納し表示を付して建物管理者に引き渡す(報告書共)。
・ 現場において再利用をはかるもの ()
・ 再生資材の利用を図るもの (・ 蛍光灯)
上記以外のものは、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)以下「建設リサイクル法」という。に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

松阪市の環境方針に基づき、環境に配慮した工事の推進を図る。(1編 1.4.1)
国等による環境物品等の調達の推進に関する法律(グリーン購入法)の公共工事対象品目ものは、その判断基準を満足したものである。
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき、指定された建設機械を使用する。

本工事に使用する設備機材等は、設計図書(設備機材等選定表を含む)に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。

設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は評価機関等(1編 1.4.2)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等を含む。

姿の形状及び寸法は、概略を示す。

検査及び試験を行う機材は、下記によるほか標準仕様書による。(1編 1.4.5)

機 材 名	検 査	試 験	備 考

最大電力 500 kW 以上の場合においても、第一種電気工事士より施工を行う。

本工事に必要な諸手続きなどの費用はすべて請負者の負担とする。

施工図等を当該工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。
施工図などの作成に際し、別契約の施工上密接に関連する工事との取りまき等について、当該工事関係者との調整のうえ、十分検討する。
施工図等の内容を変更する必要がある場合は、監督職員に報告するとともに、施工等に支障がないように適切な措置を講ずる。

標準仕様書(1.5.2)により報告した場合、監督職員の検査を受ける。(1編 1.5.3)
・ 見本施工の実施()については見本施工を行う。

工事が完了したときは、「工事完成届」、「完成写真」(各1部)を提出し、検査日に完成検査を受ける。(1編 1.6.1)
部分払の請求をする場合は、「出来高部分検査要求書」(1部)を提出し、検査日に出来高部分検査を受ける。(1編 1.6.2)

○完成図：竣工図 製本3部 (1編 1.7.1)
○電子データ(CD-R又はDVD-R) 2枚 (1編 1.7.2)
作成方法は「普通工事電子納品要領(平成24年版)」による。
○完全に関する資料 製本2部 (1編 1.7.3)

工事写真：各工程、工程ごとに着工前から完成まで黒板入で撮影する。
表紙を設け、「工事写真」、「工事名」、「請負業者名」を記入する。
完成写真：工事完了後、施工部分について黒板入で撮影する。
表紙を設け、「完成写真」、「工事名」、「請負業者名」を記入する。
検査写真：完成検査において、検査官立会いのもと、黒板入で撮影する。
表紙を設け、「検査写真」、「工事名」、「請負業者名」を記入する。
カラーサービズ版をA4サイズ既製品又は洋白紙に貼付し、各1部提出する。
デジタルカメラにより撮影をする場合は、データ管理を徹底する。(バックアップ)プリンタにより印刷する場合は、表面加工紙を用い、印刷したサンプルを提示し、監督職員の承諾を受ける。写真サイズはカラーサービズ版程度とする。

図示のベンチマーク(B・M) mm (現状地盤はB・M mm)

工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ、在来にならい補修する。

足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」について(1編 2.1.1)(厚生労働省 平成21年4月)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、全ての作業員について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置する。
足場の組立等作業主任者、積載荷重等を足場に表示する。
足場の定期点検記録を作成し、監督職員に提出する。

設ける：規模(面積) ・ 10 ・ 20 ・ 35 ・ 65 ・ 100 m²程度 (1編 2.1.1)
・ 設けない

公衆の見易い場所に、「工事名称・請負業者名等」、「建築基準法による確認済」、「建設業の許可票」、「労働保険関係成立票」、「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」、「施工体系図」等掲げる。

共 通 事 項

1. 4. 工事用水

2. 5. 工事用電力

3. 6. 埋戻し土

4. 7. 建設発生土の処分

5. 8. 他工事との工事区分

6. 9. 機器取付高さ

7. 10. 接地極

8. 11. 接地調査

9. 12. 電源周波数

10. 13. 電線類

11. 14. 合成樹脂管配線

12. 15. 薄鋼電線管

13. 16. 電線本数・管路等

14. 17. 全貫管の塗装

15. 18. 保護管

16. 19. スリーブ

17. 20. 最上層の埋め込み配管

18. 21. 保温・結露防止

19. 22. 呼び線

20. 23. フラッシュプレート

21. 24. 地中配線の埋設深さ等

22. 25. ハンドホルルの置

23. 26. 電力・電話の引き込み

24. 27. 設備機器容量等

25. 28. 周線

構内既存の施設： ・ 利用できる(有償・無償) 利用できない
構内既存の施設： ・ 利用できる(有償・無償) 利用できない

土中埋設配管の保護のため、埋戻し土は下記による。(1編 2.2.1)
根切り土中の良質土 ・ 山砂 (2編 2.12.2)

・ 構内敷きならし ・ 構外掘出(片道運搬距離 約 km)
構外掘出の掘出先は監督職員と協議による。

図面に特記無き場合は、表-1「他工事の工事区分表」による。
図面に特記無き場合は、表-2「機器標準取付高さ」による。

図面に特記無き接地極は、表-3「接地極一覧表」による。

敷地内の3箇所において、大地抵抗率の測定及び試験電極施工による接地抵抗の測定を次により行い、その報告書を監督職員に提出する。

測定種別	測定方法
大地抵抗率	大地抵抗率測定器(ウェンナーの4電極法によるもの)を用いて行う。
接地抵抗	直径14mm、長さ1500mmの接地棒を打ち込み、JIS C1304(接地抵抗計)に規定するものを用いて行う。

(報告書：大地抵抗率測定表及び解析グラフ、接地設計、工事写真等)

○ 60 Hz ・ 50 Hz

(1) E M電線の内、規格等の定めのないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で(2編 1.1.1)構成されたものとし、次の記号及び仕様による。

記 号	仕 様

(2) 配線記号の表記は標準図に記載されている記号を適用する。

合成樹脂製可とう電線管(P F管)及び付属品は、タイプ-25のものを使用する。(2編 1.2.2)
なお、電力用位置ボックス類は原則として合成樹脂製とするが、コンクリート打ち込み部分は金属製としても良い。ただし、金属製とする場合は当該ボックスには接地を施すものとする。

薄鋼電線管は表示されているものと同一外形のねじなし電線管を使用しても良い。

分電盤、制御盤、端子盤などの二次側以降の配管経路、電線の太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。

次の露出配管は、塗装を行う。 ○ 行わない (1編 2.7.1)
(屋外 居室 機械室)

ケーブル配線の保護管は、標準仕様書の金属管配線、合成樹脂管配線の項による。

紙製板付 柱梁以外の箇所て開口補強が不要であり、かつスリーブ径が200 (1編 2.9.1)mm以下の部分に用い、配管施工前に取外し、配管施工後にモルタルで埋め戻す。
つば付銅管製 外壁の地中部等の水密を要する部分に用い、つば溶接後内面及び端面にさび止め塗料を施す。
ビニル管(VV) 地中部分で水密を要しない部分に用いる。

最上層の天井スラブへの埋め込み配管は、原則として避けるものとする。

外気に面する壁、天井で建築工事にてF P(スタイロフォーム)打ち込みの箇所に取付ける位置ボックス等は保温、結露防止処理を行う。

長さ1m以上の入線しない電線管は、1.2mm以上の呼び線を挿入する。(2編 2.2.9)(2編 2.12.4)

フラッシュプレートは、図面に特記なき場合は次による。
○ 金属製(ステンレス、新金属も含む) ・ 樹脂製

地中配線で、特記なき埋設深さは0.6m以上とする。また、地中配線にはケーブル埋設槽及び埋設シート(1/2ね巻)を設ける。(2編 1.19.6)(2編 2.12.4,5)

ハンドホルルの設置は、鍍型流し込みで用途名を表示する。(2編 1.19.6)
構内配電線路の用途名 (・ 電力 ・)
構内通信線路の用途名 (・ 通信 ・)

電力及び電圧引き込み線の引線方法、位置については電力会社及び電気通信事業者と打ち合わせのうえ監督職員と協議により施工する。

本工事及び別契約の関連工事において設備機器容量等が相違する場合は、関連する設備の施工及び機器製作前に監督職員と協議し、指示を受けること。

周線の新增増設移転の手続きは、本工事とする。

共 通 事 項

29. 耐震措置

電 灯 設 備

1. 電気方式

2. ハイテンションアウトレット

3. 非常用照明器具

4. 配線器具

5. 蛍光灯安定器・ランプ

6. コンセント

7. 照明制御総合動作試験

8. 照度測定

9. 送り配線端子

10. 分電盤等

1. 電気方式

2. 機器への接続

3. インバ-タ装置の規約効率

4. 電動機への接地

5. 警報盤

6. 電磁閉閉器用押印(遠方操作用)

7. 進相用コンデンサ

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針(2編 2.1.13)2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。
(1) 設計用水平地震力は機器重量に、次に示す設計用水平地震を乗じたものとする。
<施設区分> ・ 特定の施設 ・ 一般の施設
<重要機器> ・ 配電盤 ・ 発電装置
・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
・ 交換機 ・ 火災報知設備
・ 中央監視制御装置

<上層階の定義> 2-6階建ての場合は最上層、7-9階建ての場合は上層2階、10-12階建ての場合は上層3階、13階建て以上の場合は上層4階

局部震度法による建築設備機器(水櫃を除く)の設計用水平震度				
設 置 場 所	特 定 の 施 設		一 般 の 施 設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)
中間階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)
1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)

局部震度法による水櫃類の設計用水平震度				
設 置 場 所	特 定 の 施 設		一 般 の 施 設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	1.5	1.0	1.0	0.6

注) ()内数値は、防振支持の機器の場合に適用する。

(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

幹線(○ 単相3線式 200V/100V ・ 直流2線式 100V)
分岐(○ 単相2線式 100V ・ 直流2線式 100V)
○ 単相2線式 200V)
今回工事 空調室内機電源のみ
・ 外部固定形 ・ 内部固定形 ・ 回転形又は上下動形

・ 電池内蔵形 ・ 電源別置形 (2編 1.5.1)

タンブラスイッチは通用形(大角形)とする。(2編 1.3.1)
壁付コンセント(2P15A)は原則として通用形(大角形)とする。ただし、2口の場合は複式を使用してよい。

図面に特記なき場合は、表-4「蛍光器具の安定器の回路方式」による。(2編 1.4.3)

発電機回路に接続されるコンセントは、原則として赤色とする。(2編 1.14.3)

照明制御の総合動作試験は次に示す事項について行い、監督職員に試験成績書を提出(2編 2.18.2)し、承諾をうける。
・ 目標照度設定のための各調光センサー(夜間及び日中)
・ 不在制御機能の動作及び動作時間設定のための調光人感センサー
・ タイムスケジュール制御における点滅及び調光制御の動作確認
・ 外光センサーによる点滅及び調光制御のための動作確認
上記試験項目は全数確認とする。

一般照明の照度測定 行う ・ 行わない (2編 2.18.2)
測定箇所(居室)
非常用の照明装置は各室2箇所以上行う。

埋込型蛍光灯器具、100V以下の埋込白熱器具(非常用照明器具を含む)及び直付形蛍光灯器具(20形以上)には、定格電圧15A以上の送り配線が可能な端子を取付けるものとする。

本工事の分電盤、O A盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸(2編 1.8.1)法と定格は、JIS C 8370「配線用遮断器」附付属品5「電灯分電盤用協約形配線用遮断器」による。特記なき場合、分岐に用いる2極の配線用遮断器及び漏電遮断器は、1極サイズのものとする。

幹線 (・ 三相3線式 200V ・ 三相3線式 415V)
分岐 (・ 三相3線式 200V)

本工事制御盤より別途電動機等への配線の接続は、本工事とする。(2編 2.15.3)

三相可変速電動機用インバ-タ装置の規約効率は、次の数値以上とする。

電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11
インバ-タ効率(%)	85.0	87.0	88.5	89.5	90.0	90.5	91.0	91.5

電動機出力(kW)	15	18.5	22	30	37	45
インバ-タ効率(%)	92.0	92.5	93.0	93.5	94.0	94.5

(1) 電動機の供給電圧は200V又は400Vとする。
(2) インバ-タ効率は、100%負荷時の値とする。

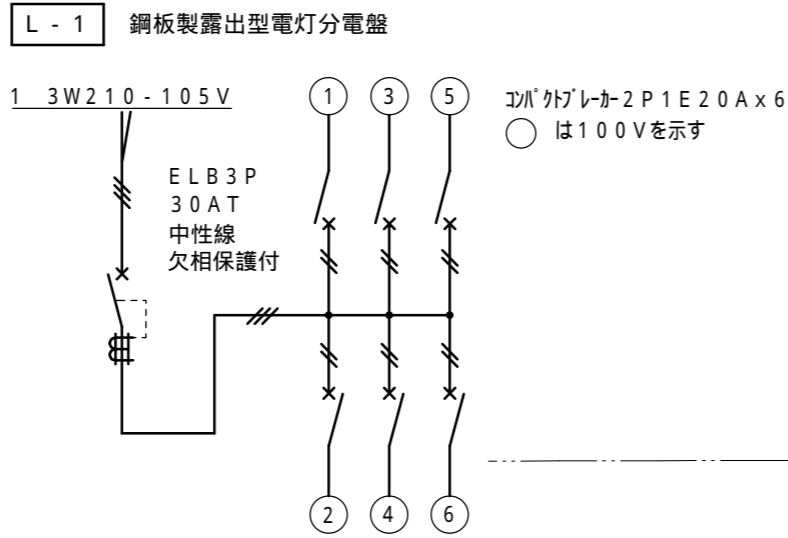
金属管配線において、電動機容量7.5kW以下は金属管を接地線とする。

壁掛形(電源装置 内蔵 ・ 別置)

埋込通用形配線器具

各負荷ごとに適合するコンデンサを取付ける。

記号	名称	適用
	電灯分電盤	
	積算電力量計 (電力会社支給品)	
	埋込型スイッチ	1P15A
	埋込型スイッチ	NO表示付
	LED 直付け型	
	LED 壁付け型	
	埋込コンセント	2P15A 1口
	埋込接地極付コンセント	2P15A 2口
	壁付 換気扇 (電気工事)	
	接地極	10 x1.0m打込み式 D種



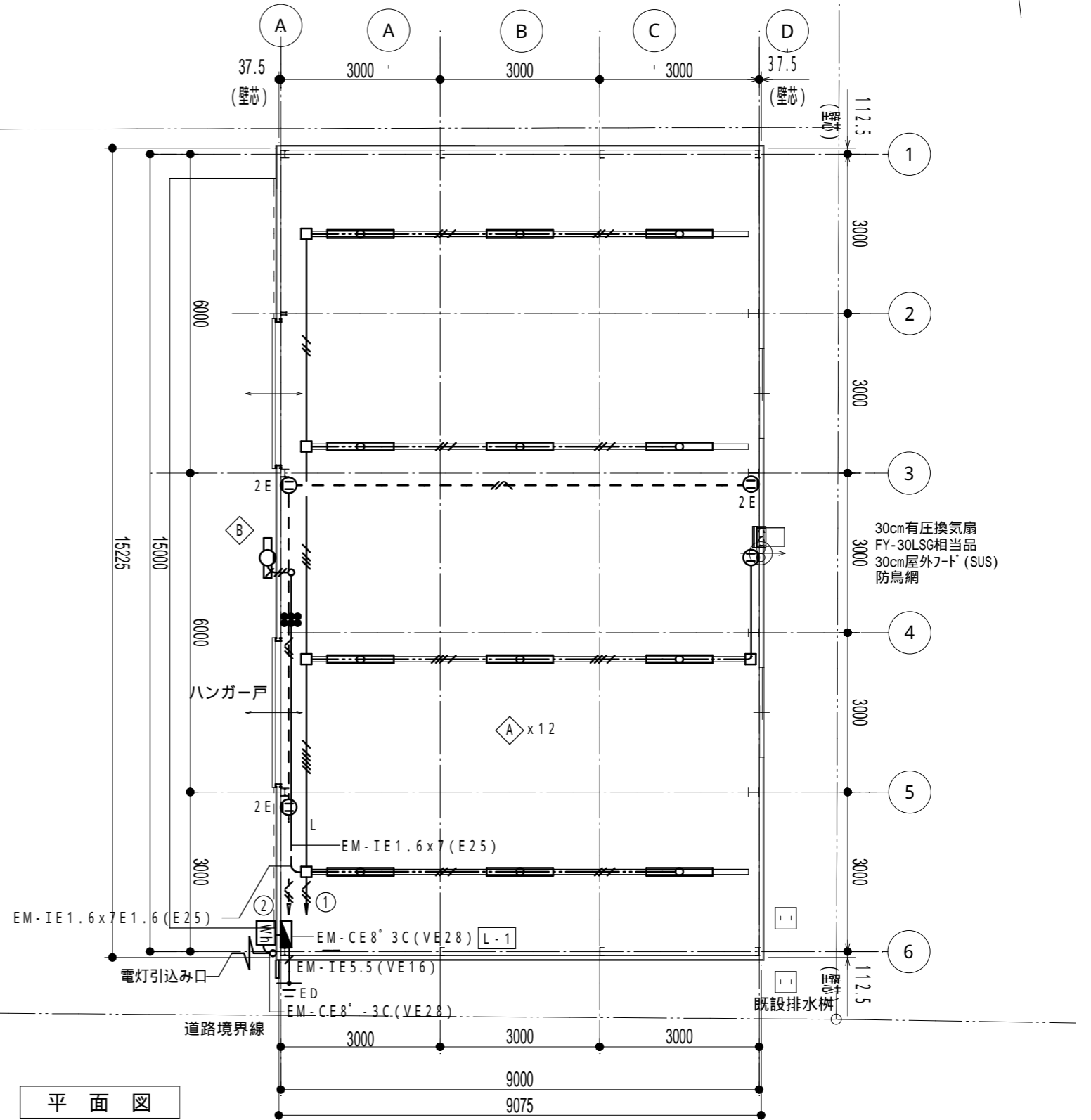
照明器具姿図

A	iDシリーズ直付型40形 iスタイル	B	LEDウォールライト 20形
参考型式 LSS1-4-30		参考型式 LBF3MP/RP-2-06	
一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力20.6W、定格出力型、電圧100-242V 本体：鋼板(白色粉末塗装) ライトバー(カバー)：ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		LED内蔵、電源ユニット内蔵 防湿型・防雨型 5000K、Ra83、光源寿命40000時間(光束維持率85%) 器具光束990lm、消費電力10W、電圧100-242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート(乳白) 天井直付型・壁直付型、保護等級：IP23	

特記なき配管配線は下記による

電灯コンセント設備		
	EM-IE1.6x2	(E19)
	EM-IE1.6x2 E1.6	(E19)
	EM-IE1.6x3 E1.6	(E19)
	EM-IE1.6x4 E1.6	(E25)
	EM-IE1.6x5 E1.6	(E25)
	EM-IE2.0x2 E2.0	(E19)
	EM-IE2.0x2 E2.0	(PF16・E19)

- 露出配管配線
- 床打込み配管配線 打込みPF管 立上りE管
- 2種金属線び



平面図

備考	

名称	防災倉庫新築工事設計図			図面番号
DATE	DRAW	CHECK	図名	No. E-02
2022.12.20			電灯設備図	
			A3 1:100	

令和5年度	工 事 設 計 書				
工 事 名	玉城町防災倉庫新築工事				
施工場所	玉城町 佐田 地内		防災倉庫新築工事		
予 算 額	円		設計 令和5年4月14日		
設 計 額	円 (うち消費税等 円)				
工 事 費	円		設計 検算		
工 期	自 令和5年6月27日 至 令和5年11月30日	157日間	長		巾
工 事 の 概 要			変 更 理 由		
鉄骨造 平屋建 カクイチ製 HKL-5050型 建築工事、電気設備工事 一式					

内 訳 書

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	玉城町防災倉庫新築工事						
2	一 建築工事	HKL-5050型 入口 ハンガー戸	1	式			
3	二 電気設備工事	換気扇含む	1	式			
4	三 機械設備工事		1	式			
5	直接工事費						
6							
7	四 共通仮設費		1	式			
8	純工事費						
9	五 現場管理費		1	式			
10	工事原価						
11	六 一般管理費等		1	式			
12	工事価格						
13	工事価格(千円止め)						
14	消費税等相当額						
15	設計額						
16							
17							
18							
19							

内 訳 書

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	二	建築工事					
2	a	本体工事	広スペースハウスHKL-5050型	1	式		
3	b	基礎工事		1	式		
4	c	開口部下地工事		1	式		
5	d	前壁セット工事		1	式		
6	e	アルミ窓セット工事		1	式		
7	f	換気扇下地セット工事		1	式		
8	g	雨樋セット工事		1	式		
9	h	土間コンクリート工事		1	式		
10	i	ハンガー戸及び雑工事	ハンガー戸焼付塗装仕上げ 防災倉庫文字2面	1	式		
11	j	重機代		1	式		
12	k	運搬費		1	式		
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19		1-計					

内 訳 書

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	a	本体工事					
2		HKL-5050本体	1	棟			
3		本体組立費	1	棟			
4		外部足場損料	238	m ²			
5		小 計					
6							
7							
8	b	基礎工事					
9		水盛遣方	135	m ²			
10		建物周囲基礎	49	m			
11		小 計					
12							
13							
14	c	開口部下地工事					
15		下り壁付開口部下地	2	面			
16		下り壁付開口部下地工事費	2	面			
17		小 計					
18							
19							

内 訳 書

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	d	前壁セット工事					
2		B前壁セット	1	面			
3		組立費	1	面			
4		小 計					
5							
6							
7	e	アルミ窓セット工事					
8		アルミ窓16509	2	窓			ラフワイヤーガラス
9		同上取付費	2	窓			
10		小 計					
11							
12							
13	f	換気扇下地セット工事	1	式			
14							
15	g	雨樋セット工事					
16		雨樋セット	1	箇			2型 工事費共
17		雨樋セット	3	箇			中間 工事費共
18		小 計					
19							

内 訳 書

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	h	土間コンクリート工事					
2		土間コンクリート	土間厚120 Fc210 配筋タテヨコ共D13-300@	153	m ²		
3							
4							
5	i	ハンガー戸及び雑工事					
6		引分けハンガー戸	W2700 x H 3100 焼付塗装	2	面		
7		防災倉庫文字		2	箇所		
8		小 計					
9							
10							
11	j	重機代					
12		レッカー代		2	台		
13		ポンプ車		2	台		
14		高所安全作業車		2	台		
15		重機回転		2	台		
16		小 計					
17							
18	k	運搬費		1	式		
19							

内 訳 書

名 称	材 料		数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	材質	形 状 寸 法					
二. 電気設備工事							
a. 電灯設備			1	式			
二一計							

内 訳 書

名 称	材 料		数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	材質	形 状 寸 法					
a. 電灯設備							
a		E19 露出	20	m			
b		E25 露出	10	m			
c		PF16 打込	18	m			
d		VE16 露出	3	m			
e		VE28 露出	3	m			
f		F30 露出	1	m			
g		EM-IE1.6 管内	217	m			
h		EM-IE2.0 管内	22	m			
i		EM-IE2.0 F管内	55	m			
j		EM-IE5.5 管内	3	m			
k		EM-CE8°-3C 管内	4	m			
2種金属線ひ		MM2-A	28	m			
位置ボックス類			1	式			
電灯分電盤		L-1 鋼板製露出型電灯分電盤	1	面			
照明器具 A		LSS1-4-30	12	個			
照明器具 B		LBF3MP/RP-2-06	1	個			

内 訳 書

名 称	材 料		数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	材質	形 状 寸 法					
有圧換気扇 30cm		取付枠・フード(SUS)共	1	組			
埋込スイッチ 新金属プレート付			1	組			
埋込コンセント 新金属プレート付		1P15Ax5+PL15Ax1	1	組			
埋込コンセント 新金属プレート付			3	組			
接地極 打込み式		10φ1.0m 1連	1	か所			
a-計							

